

VECTORWORKS 2026

総合カタログ





WHAT IS VECTORWORKS

設計プロセスのあらゆる段階を高めるよう設計された

Vectorworks 2026は、私たちの「デザインファースト」理念に基づき、
今日のデザイナーの進化するニーズに応え、未来の課題を踏まえて開発されています。

今回の新バージョンは、よりスマートな自動化、自由度の高いカスタマイズ、
サステナビリティの視点によって、デザイナーの創造力を、ビジネスにも、クライアントにも、
そして地球の未来にも価値ある成果へと結びつけるようサポートします。

最小限の操作で、素早くデザインへ。

Vectorworks **2026.**

VECTORWORKS 2026 LINE UP

Vectorworks 2026は、汎用作図機能を搭載した基本製品のFundamentals（ファンダメンタルズ）、BIM対応の建築・インテリアデザイン向け製品のArchitect（アーキテクト）、ランドスケープデザイン向け製品のLandmark（ランドマーク）、ステージ&ステージライティングデザイン向け製品のSpotlight（スポットライト）、そして全製品の機能を搭載した最上位製品、Design Suite（デザインスイート）の5製品のラインアップをご用意しています。

Vectorworks 2026シリーズの基本製品

Vectorworks Fundamentals

2D/3D汎用作図機能に、プレゼンボード作成機能や図面と連動できる表計算機能など、数多くの基本作図機能に加え、高品質レンダリング&3Dビジュアライズ機能を搭載したVectorworksシリーズの基本製品です。



BIM対応の建築設計、インテリアデザイン支援機能を搭載した建築/内装業界向け製品

Vectorworks Architect

建築設計や内装、ディスプレイデザインに対応した先進的なBIM・インテリア設計支援機能、拡張機能、さらには豊富な建築向けのデータライブラリを搭載した建築/内装業界向け製品です。



都市計画・ランドスケープデザイン支援機能を搭載した都市計画/造園業界向け製品

Vectorworks Landmark

地形モデルや多彩な植栽、灌漑設備計画等に対応するランドスケープデザイン支援機能、さらには豊富な造園向けのデータライブラリを搭載した都市計画/造園業界向け製品です。



ステージデザイン・舞台照明計画支援機能を搭載したエンタテインメント業界向け製品

Vectorworks Spotlight

ステージプランニングやライティング計画に対応した先進的な舞台照明計画支援機能、さらには各種メーカー製のトラスや照明機材、音響機器等の豊富なデータライブラリを搭載したエンタテインメント業界向け製品です。



すべての設計支援機能を搭載した最上位製品

Vectorworks Design Suite

基本となる2D/3D汎用作図機能と3Dビジュアライズ機能に加え、BIM・インテリア設計支援機能、ランドスケープデザイン支援機能、舞台照明計画支援機能のすべての設計支援機能を搭載したVectorworksシリーズの最上位製品です。



製品タイプ

スタンドアロン版とネットワーク版から選択可能



オフィスのデスクトップパソコンと外出用パソコンの2台で使用する場合は、スタンドアロン版がおすすめです。
※同時起動はできません。



サーバーで同時に使用できるライセンス数を一元管理できるため、日々のライセンス使用状況を見ながら効率良くライセンスの運用が可能です。

[詳しくはp.20をご覧ください](#)

NO DRAG. JUST DRIVE.

最小限の操作で、素早くデザインへ。

Vectorworksのインターフェイスは直感的で分かりやすく、そして作図しやすい環境を提供しています。

基本パレットには作図ツール、ツールセットには作図補助やモデリングツールが格納され、デザイナーは素早くツール群にアクセスしデザインワークに移れます。

ラインアップの各製品は固有の作業画面を備えており、業界に合わせて一連のツールとコマンドが用意されています。一般的な2Dでの描画や3Dでのモデリングに必要な基本機能をはじめ、図面によって異なるニーズに対応するために、複数の作業画面を作成することも可能です。

VectorworksはCADであり、BIMツールであり、モデラー、レンダラー、そしてプレゼンテーションツールでもあります。デザイナーの設計環境に応えるソフトウェア、それがVectorworksです。

01 基本パレット

基本パレットには、直線や四角形ツールをはじめ、さまざまなオプションが集約された作図ツールとフィルットやトリミングツールなどの編集ツールが搭載されています。多くのツールは2D図形だけでなく、3Dモデルの作図/編集にも対応しています。

02 ツールセットパレット

ツールセットパレットには、2D/3D対応の寸法ツールが集約された「寸法/注釈」やモデリングツールが集約された「3D」など、機能別のツール群が収納されています。Architect、Landmark、Spotlight、Design Suiteでは、建築設計向けの「建物」や造園計画向けの「敷地計画」、舞台照明計画向けの「照明」などのツールセットが搭載されており、それぞれを切り離れたフローティングパレットとして使うことも可能です。

03 属性パレット

線や面図形に、線種や色/ハッチング/グラデーション、不透明度/ドロップシャドウなどを設定できます。各種設定はポップオーバーで表示されるので、作業を妨げることがありません。

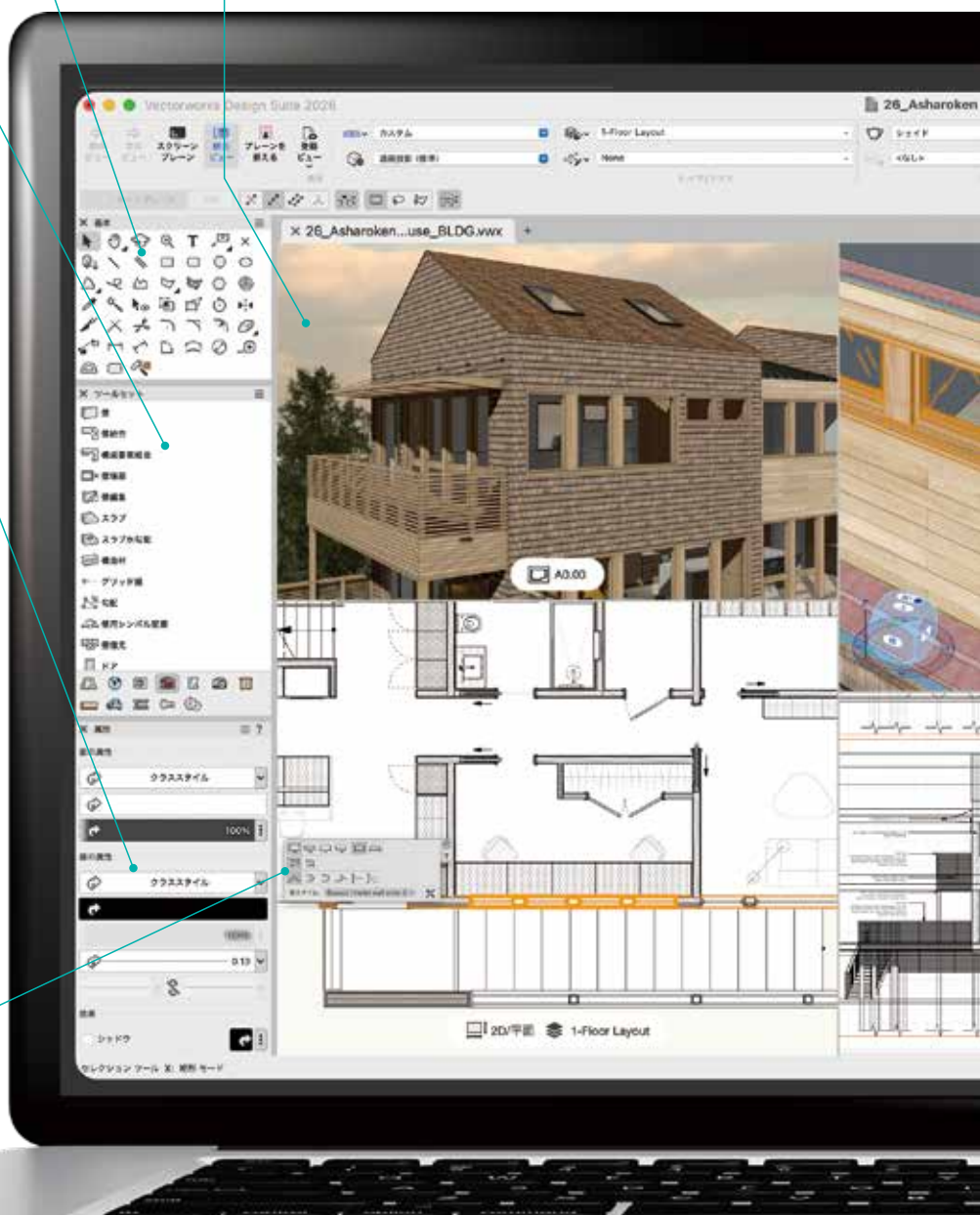
スマートオプションディスプレイ

マウスカーソルのすぐそばにツールを表示する、スマートオプションディスプレイはカスタマイズでき、よく使うツールセット、最後に使ったツール、ツールモード、ビューなどへ少ないマウスクリックで簡単にアクセスが可能です。



04 マルチビューウインドウ

図面と3Dモデルの正面/側面/斜めなど、複数の方向から同時に確認をしながらの設計作業が可能です。クラスやレイヤの表示設定を自由に切り替えて必要なビューウインドウを設定でき、一度に複数のデザインレイヤやビューポートを確認できます。また、作業領域を確保するためにメインモニターとサブモニターに分けることも可能です。





デザインワークを支えるテクノロジー

作図/モデリングエンジンには、製造系CAD/CAMの多くで使用されている、高精度な図形表現が可能な「Parasolidモデリングカーネル」を採用しています。アニメーションエフェクトや高速なズームイン/ズームアウトなどを実現する描画エンジンには、「Vectorworks Graphics Module(VGM)」を使用しています。レンダリングエンジンにはCinema 4Dフィジカルレンダリングエンジン「Cineware」が搭載されており、高速で高品位な3Dビジュアライズ機能を提供しています。

タイトルバー/メニューバー

アップデート情報や使い方のヒント、トレーニングやイベントの情報などを通知する「ホームスクリーン」、使いたいツールやコマンドの名前を入力して目的の操作を素早く行える「クイック検索」を利用できます。

表示バー

ビューの状態や図形へのスナップをコントロールしたり、縮尺や文字の設定、クラスやレイヤのファイル構成を素早く切り替えるための機能が集約されています。

05 リソースマネージャ

シンボル図形、テキスト、ハッチング、スタイルなど多くのリソースライブラリを視覚的に一元管理することができます。利用中の製品で使用可能なライブラリを、インターネットを通じて追加・更新することも可能です。また、頻繁に使用するライブラリを「お気に入り」に指定することで、効率よく作業を行えます。

06 オブジェクト情報パレット

オブジェクト情報パレットでは、選択した図形に関連する高さや幅、座標、図形が属するクラスやレイヤなどの情報をはじめ、レコード、テキストなど、さまざまなオブジェクト情報が表示されます。基本図形情報のほか、建築などの専門オブジェクトでは、関連する詳細なパラメータ情報を表示します。

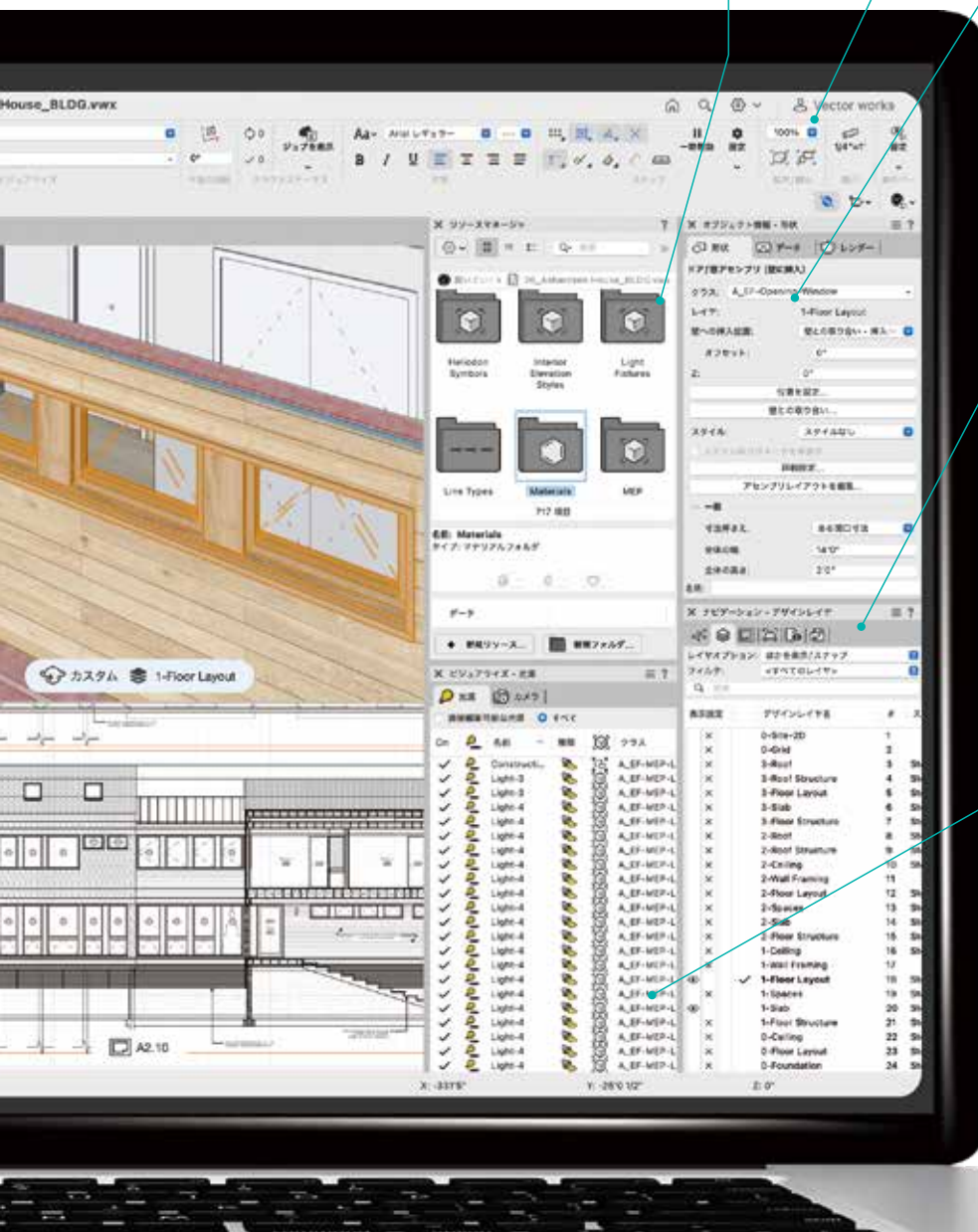
07 ナビゲーションパレット

ナビゲーションパレットでは、クラスやレイヤ、ビューポート、登録ビュー、ファイル参照などの図面要素に簡単にアクセスでき、新規作成や削除も可能です。さらに前後関係の入れ替えや名前の変更、参照したファイルを最新の状態に更新することもできます。

※Architect、Landmark、Spotlight、Design Suiteでご利用いただけます。

08 ビジュアライズパレット

ビジュアライズパレットでは、図面上の光源やカメラを選択したり、光源ごとの点灯/消灯や影の有無の変更、カメラ視点を切り替えることができます。右クリックで詳細情報にアクセスし、カメラのフィルムサイズや縦横比、被写界深度や露出を変更することも可能です。



WHAT'S NEW 2026

Vectorworks 2026 新機能

Vectorworks 2026 は、先進的なテクノロジーによってデザインの自由度を高め、さまざまな業界の主要なワークフローの最適化に重点を置いています。立面図や断面図、3Dビューにおける線画の奥行き表現は、距離感に応じたオブジェクトの見え方を調整し、図面をより読みやすくします。さらに、分割やリンクができる直感的な新しいワークシートインターフェイスにより、ボリュームのある各種書類のページレイアウトが素早く、自在にコントロールできるようになります。

PRODUCT MARK

F Fundamentals **A** Architect **L** Landmark

S Spotlight **D** Design Suite

Subscription サブスクリプション契約者限定サービス

Service Select Vectorworks Service Select契約者限定サービス



01 奥行き表現

自動的に調整される奥行き表現により、隠線消去およびシェイド表示のビューポートにおいて、オブジェクトの距離に応じて線の太さ、濃淡、ピクセルの透明度を調整できるようになります。手作業による調整が不要となり、奥行きや強調が伝わる、より鮮明で読みやすい図面を作成できるため、オフィスや業界の図面基準を満たす作業時間を短縮し、あらゆるプレゼンテーションの質を高めます。

F A L S D **NEW**



02 ファイルヘルスチェッカー

Subscription

ファイルヘルスチェックパレットによって、Vectorworksファイルを手軽にベストコンディションで維持できます。形状・設定・リソースに関する隠れた問題を自動でスキャンし、ガイドに従って段階的に対処するか即座に解決します。ファイル管理の手間を軽減し、アイデアを形にする作業により多くの時間を割けます。

F A L S D **NEW**



03 ワークシートの分割機能

ワークシートの最新インターフェイスでは、ツールやコマンドがリボン形式のツールバーに整理され、ワークシートのカスタマイズが容易になりました。また、ワークシートを印刷可能範囲に合わせて分割でき、繰り返される固定ヘッダーはレイアウトに最適化されます。これにより、精確なデータの集計と高品質なプロジェクト資料の作成に集中できます。

F A L S D **NEW**



04 ドア/窓アセンブリ

ドア/窓アセンブリツールを使えば、ドアオブジェクト、窓オブジェクト、シンボル、パネル、壁充填材の組み合わせを、1つの堅牢なアセンブリとして手間なく統合できます。このアセンブリはスタイル登録やプロジェクト全体への展開も容易です。リアルタイムかつインタラクティブな編集、柔軟なレイアウト、詳細なレポート機能によって、創造的で自由な施工ニーズに応える設計を実現できます。

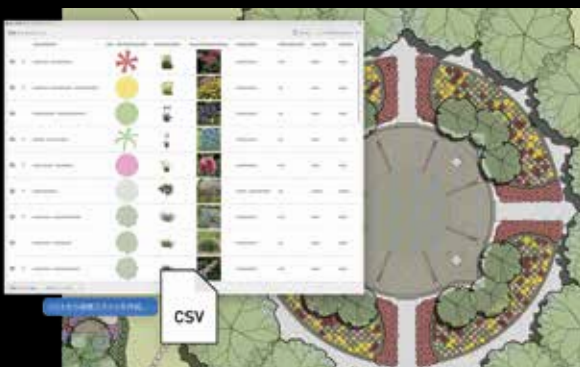
● A L S D NEW



06 植栽スタイルマネージャ

刷新されたインターフェイスと高度なフィルタ機能で植栽スタイルを容易に管理、更新できます。またより柔軟な配置モードとパスの編集機能を搭載し、クリエイティブな時間を確保しつつスムーズで直感的な植栽デザインを可能にします。

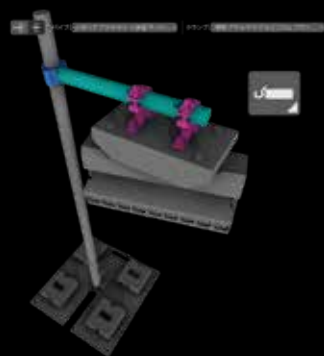
● ● L ● D NEW



08 クランプとサイドアーム

専用のサイドアームオブジェクトと挿入ツール、そして簡素化されたクランプおよび機器のリギングの組み合わせにより、作業効率が向上します。さまざまな構成でクランプおよびパイプ用金物を正確に配置・編集・管理できます。設計や在庫情報を手間なく、常に正しい状態に維持することが可能。より複雑かつ現実的なサイドアームで創造力を解き放ち、設計精度とスピードを向上させることができます。

● ● ● S D NEW



05 サステナビリティダッシュボード

Vectorworksのサステナビリティダッシュボードは、設計作業中にエンボディドカーボン、都市緑化係数 (UGF)、バイオマス、生物多様性ネットゲイン (BNG) をリアルタイムで追跡できます。プロジェクトが最初のコンセプト段階からサステナビリティ基準を満たすことで、コストのかかる後工程での修正を防ぎ、要件に適合した迅速な設計を可能にし、環境配慮のリーダーとしての評価を高めることができます。

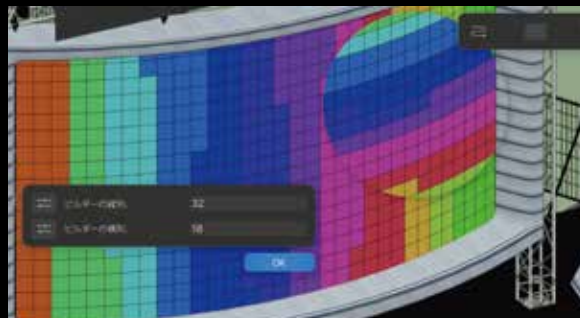
● A L S D NEW



07 LEDビデオウォール

直線的な基本形状から複雑な曲線形状まで、イベントや常設設置などニーズに合わせたLEDウォールを設計しプランニングできます。電源や構造部材などの計画とも統合させた、壁面サイズや必要な部品点数、映像のピクセル解像度などの詳細なレポートを生成します。これにより、クルーや関連業者との連携をスムーズにし作業時間を短縮し、ミスを防げます。

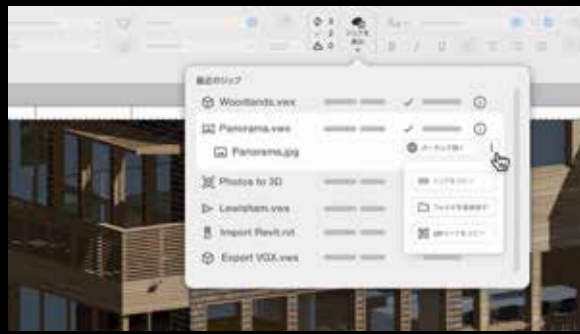
● ● ● S D NEW



09 クラウドデスクトップアプリケーション

Vectorworks Cloud ServicesがVectorworksアプリケーションにスムーズに組み込まれていることで、デスクトップとクラウドの良さを兼ね備えた、効率的な利用環境が実現します。Vectorworksの表示バーにあるクラウドステータスウィジェットでは、リアルタイムのクラウド処理状況、ジョブの進行状況、および結果への直接アクセスを提供します。使用中のアプリケーションから離れることなく、クラウドの利便を享受できます。

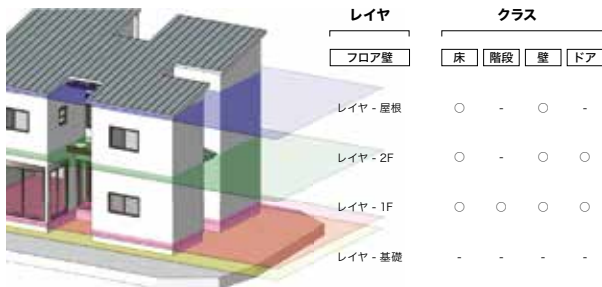
● A L S D NEW



FUNDAMENTAL DESIGN

すべての製品に共通で搭載されている基本機能

01 ファイル構成



レイヤ・クラス

Vectorworksには、ドローイングソフトで馴染みのある「デザインレイヤ」に加え、部材の種類分けなどに利用可能な「クラス」を持っています。レイヤとクラスをうまく使い分けすることで、プロジェクト内の各オブジェクトを自由に仕分けすることが可能です。建物を例にとると、各階をレイヤで分け、建材ごとにクラスを割り当てます。こうすることで、「1階の壁」や「2階の床」といった具体的なオブジェクトの指定ができます。

ビューポート・シートレイヤ

モデルを図面化するのに必要なのが「ビューポート」と「シートレイヤ」です。デザインレイヤ上で作図・モデリングしたものを、表示状態を維持したままビューポートとしてシートレイヤに作成します。ビューポートはデザインレイヤ上のオブジェクトを参照しています。設計変更の場合は、デザインレイヤのオブジェクトを修正することで、シートレイヤの図面（ビューポート）を更新して最新状態にできます。

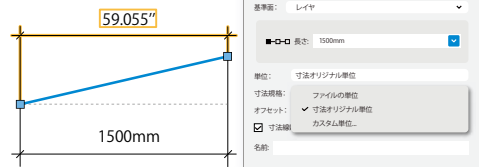


オーガナイザダイアログボックス

「登録ビュー」や「ファイル参照」など、Vectorworksファイルを構成する要素があります。これらをオーガナイザダイアログボックスで管理します。各要素の詳細設定だけでなく、ファイル内での表示設定もこのダイアログボックスで定義できます。

単位・寸法設定

Vectorworksでは作図に必要な「単位」や「寸法規格」を設定でき、利用状況に合わせたカスタマイズが可能です。寸法にも単位設定の概念があるので、ファイルで設定している単位とは異なる単位を寸法に表示できます。

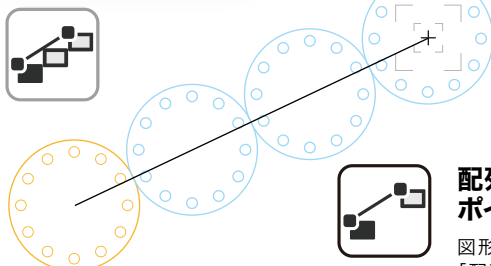


02 2D作図と加工

基本作図

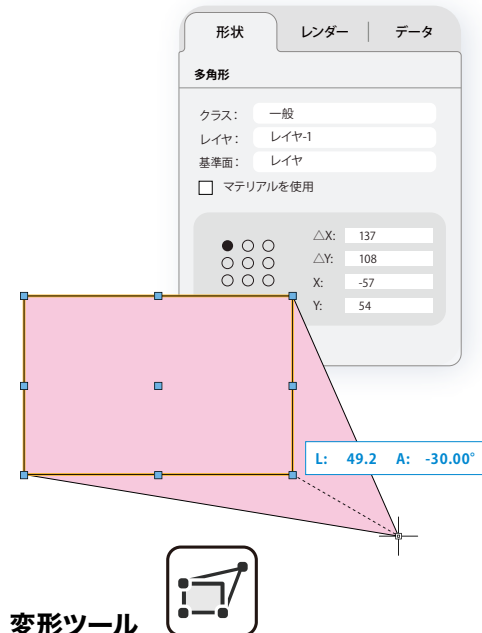
Vectorworksでの作図は直感的です。作成したい図形のツールを選択し、画面上でクリックすることで作成できます。直線以外の図形はすべて面属性を持っているため、フローリングの上にテーブルを作成する場合、隠れる部分を削除することなく、テーブル図形を重ねるだけで表現できます。また図形同士の重なり順や切り貼りによって、シンプルな形状から複雑なものまで作成可能です。

均等配置モード 複製の数:3



配列複製・ポイント間複製

図形を繰り返し並べたい場合は、「配列複製」や「ポイント間複製」が効率的な作業をサポートします。



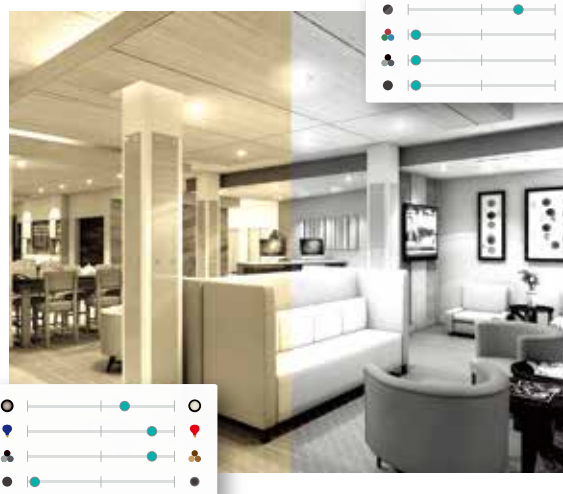
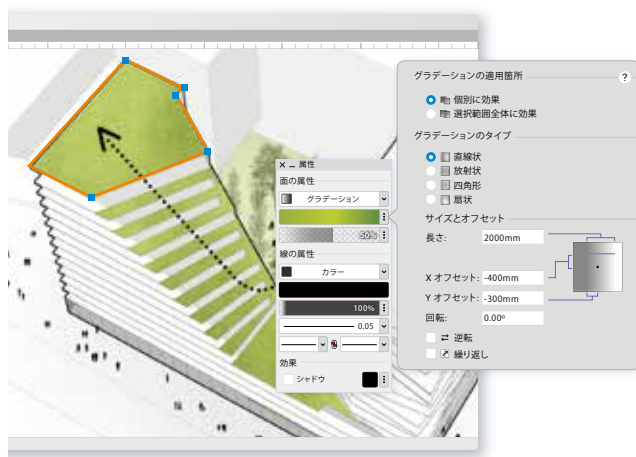
変形ツール

変形ツールを使うことで、任意の頂点や辺を移動し、細やかな編集作業ができます。各オブジェクトは縮尺に応じたサイズを持っているため、作図前、作図途中、作図後を問わず数値による指定が可能です。

03 グラフィック表現

属性設定

線図形と面図形は、その属性として「ラインタイプ」や「カラー」「ハッチング」「グラデーション」「イメージ」などを定義できます。また、RGB、HSV、CMYKでの色指定が可能なほか、「不透明度」や「ドロップシャドウ」を表現でき、表情豊かなプレゼンテーションを支援します。



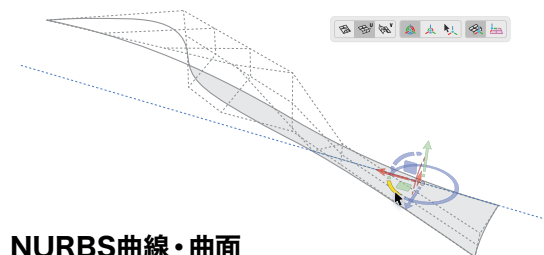
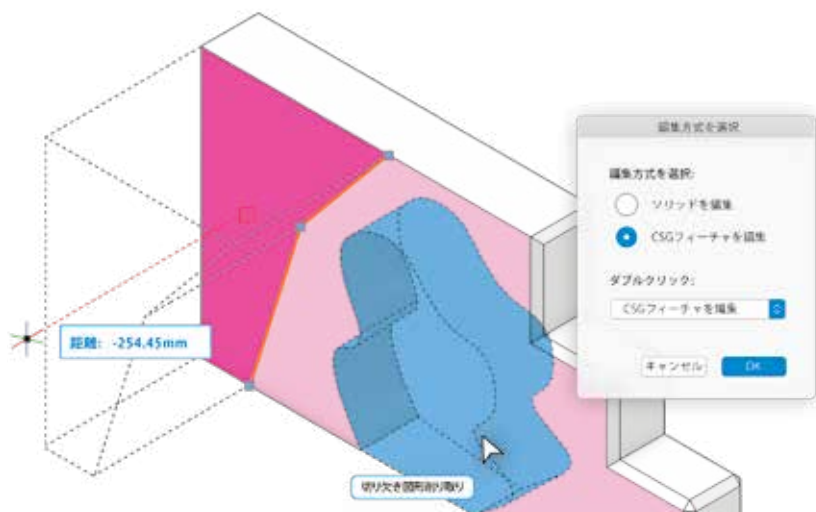
イメージエフェクト機能

取り込んだ画像の表示したい部分だけをクロップできるため、プレゼンテーションボードのコラージュなどにも利用可能です。さらにイメージエフェクト機能により、露出やコントラスト、彩度や色温度など主要なパラメータを調整できるので、画像編集ソフトは必要ありません。

04 3Dモデリング

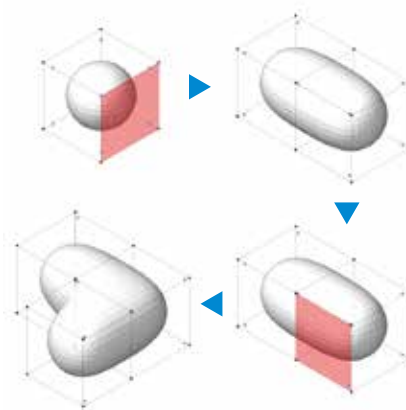
3D オートブレン機能

2Dの基本作図ツールで描いた作図面を持ち上げてそのまま3D化でき、2D作図と同様に直感的なモデリングを実現します。オートブレン機能によって3D空間内のあらゆる面を基準にモデリングできます。作成したモデルは噛み合わせたり削り取ったりすることで、より詳細なモデルにできます。また「テーパ」や「デフォーム」を使って、ひねったり曲げたり自在に編集可能です。



NURBS曲線・曲面

自由曲面はNURBSを利用します。空間内の複数のNURBS曲線をつなげることで3D曲面を作成でき、任意の値を指定してソリッド化もできます。3Dドラaggerを使って変形をすることで、直感的でスムーズなモデリングが可能です。



サブディビジョンサーフェス機能

VectorworksにはPixar社のオープンソースプロジェクト「OpenSubdiv」を利用したサブディビジョンサーフェス機能も搭載されています。プリミティブな形状から、あるいはソリッドオブジェクトから滑らかな曲面を持った3Dモデルを作成可能です。滑らかさも5段階で調整できます。

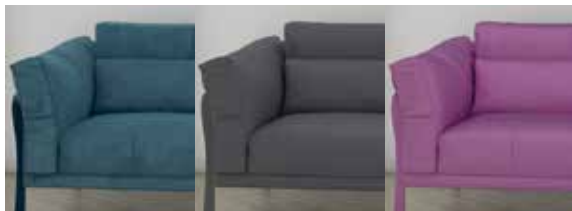
FUNDAMENTAL DESIGN

すべての製品に共通で搭載されている基本機能

05 レンダリング

テクスチャ

色・反射・透明・バンプの各属性を設定したり、画像を取り込んでテクスチャを作成し、思いのままに3Dモデルの素材を設定できます。芝生や金属、布などもリアルに表現します。



多彩な光源

平行光源、点光源、スポットライトの各光源でパースに光と影の表現を与えます。「カスタム光源」では、照明器具メーカーが提供する配光データ (IESファイル) を取り込み、保存された光量と測定値からのシミュレーションが可能です。また、テクスチャの反射属性の1つである「グロウ」を図形に適用すると、そのまま光源として使用することができ、ネオン管や間接照明などの光を多彩に表現します。



シーンレンダリング

シーン全体の効果には「環境光」や「間接光」を活用し、影の表現には「ソフトシャドウ」や「アンビエントオクルージョン」を指定することで、奥行きをもたせたシーンレンダリングを実現します。また、被写界深度や露出といったカメラエフェクトも再現できます。レンダリングスタイルを使用すれば、それぞれのシーンで行ったレンダリングの設定を保存し、いつでも再実行することが可能です。



幅広いレンダリング表現

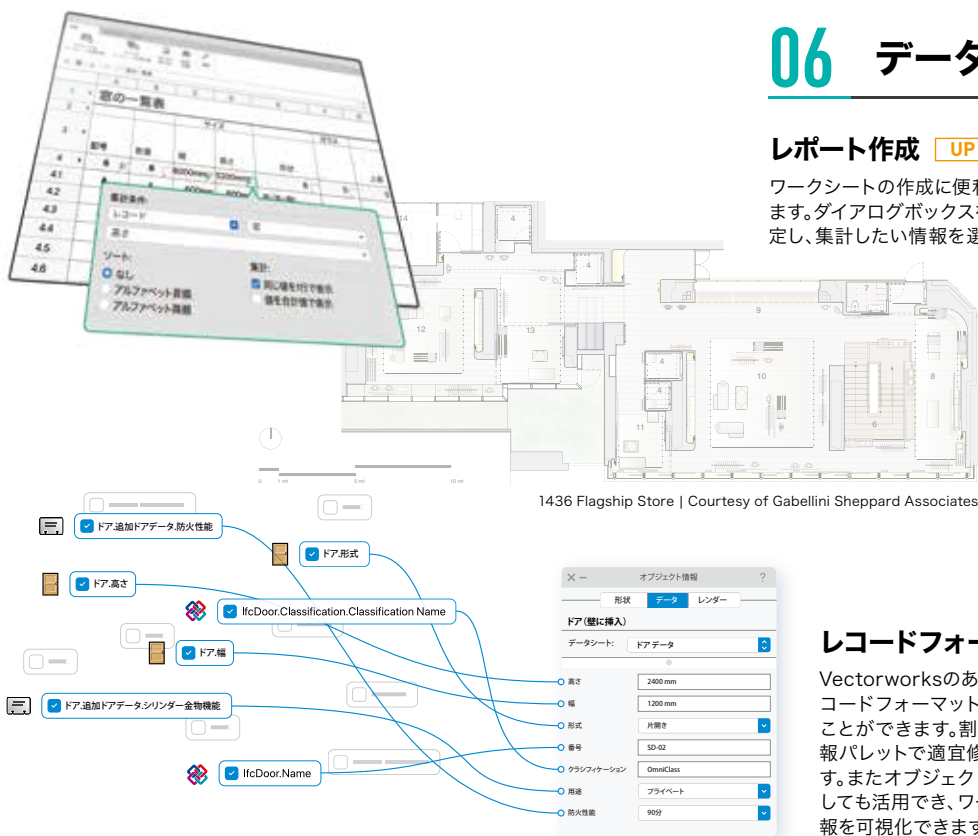
リアリスティックから手描き風まで幅広いレンダリングに対応します。また、リアルタイム処理が可能なシェイドレンダリングは、背景テクスチャからの環境光やオブジェクトからの反射、カメラエフェクトも素早く表現し、高品質なパースを作成します。

06 データベースと収集

レポート作成 UP

ワークシートの作成に便利な「レポート作成」機能を搭載しています。ダイアログボックスを通じて、対象とするオブジェクトを指定し、集計したい情報を選択することで、容易にワークシートを作成できます。

バージョン2026では、ワークシートのインターフェイスがリボン形式のツールバーに整理され、ワークシートのカスタマイズが容易になりました。また、ページに合わせて分割できる機能が追加され、レイアウトに最適化されます。



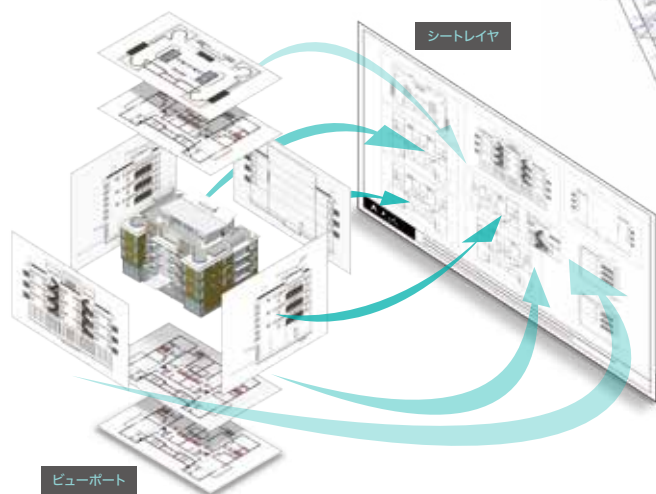
レコードフォーマット

Vectorworksのあらゆるオブジェクトには、設計者が「レコードフォーマット」を使って任意のデータを割り当てることができます。割り当てられたデータはオブジェクト情報パレットで適宜修正でき、「ワークシート」に集計可能です。またオブジェクトと双方向に連動するデータベースとしても活用でき、ワークフローのどこでも設計に関わる情報を可視化できます。

07 プレゼンテーション

プレゼンテーションシート

デザインをまとめて上げる場所は「シートレイヤ」です。デザインレイヤ上のオブジェクトを「ビューポート」として配置し、注釈などを追加しながら設計図書を仕上げるすることができます。画像の配置も可能で、プレゼンテーションボードとして利用可能です。ビューポートはデザインレイヤと連動しているため、設計変更の場合は、ビューポートを更新するだけです。



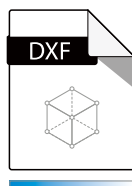
デジタルプレゼンテーション

Vectorworksはデジタルプレゼンテーションにも長けています。「ウォークスルーアニメーション」はもちろん、没入感を体感できる「パノラマレンダリング」、敷地写真と3Dモデルを合成できる「Camera Match」を利用できます。

08 データ互換

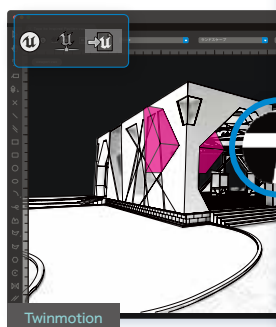
データ互換 UP

DXFなどの汎用CADデータから、OBJやSTEP、STLなど3Dデータまで多くのデータ形式に対応しています。バージョン2026では、DXF/DWGの取り出し時にシンボルに付随するレコードやテキストをブロック属性として取り出すかどうかを選択できるオプションを追加しました。またワークシートはExcel形式の取り込み/取り出しが可能で、Vectorworksで作成した一覧表を表計算アプリケーションに渡すことができます。



プレゼンテーション データ互換

プレゼンテーションのデータ互換としては、Cinema 4D形式への取り出しのほか、リアルタイムレンダリングソフトウェアのTwinmotion、Lumion、Enscape、D5 Renderとのダイレクトリンクの活用が可能です。



ENHANCED DESIGN

Architect、Landmark、Spotlight、Design Suiteに共通で搭載されている機能です。

01 あらゆる業種で利便性が向上

Fundamentalsに比べて利便性を高める機能が搭載されます。

1. 平面の回転機能では、傾きのある図面を一時的に水平にして作図ができます。作図、編集後は元の傾きに簡単に戻せます。
2. クラスやレイヤなどのファイル構造を一覧できるナビゲーションパレットが利用可能です。これにより、表示/非表示もオーガナイザダイアログボックスを表示することなく素早く切り替えられます。
3. パブリッシュ機能で取り出せる形式が増えます。PDF、イメージ形式、プリントアウトの一括処理が可能となります。

F A L S D

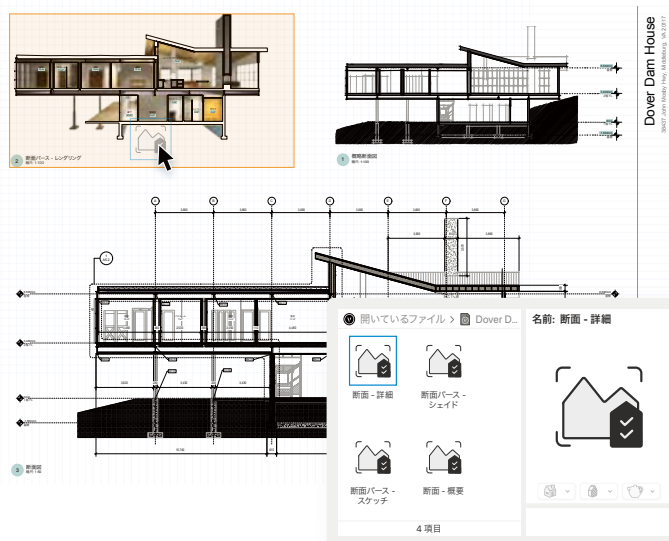


02 ビューポートの強化

Fundamentalsでは表現できないビューポート表示が可能になります。

1. 「断面ビューポート」クリップキューブの切断面や立断面記号、断面線から直接断面図を作成できます。
 2. 「室内展開図ビューポート」(Architect、Design Suiteのみ)壁ツールで作成された平面図の上でマウスクリックすると、その部屋の展開図を一括でビューポートに展開します。
- これらは3Dモデルを変更することですべてのビューポートに反映されます。
3. 「デザインレイヤビューポート」デザインレイヤにビューポートを設定できます。別のVectorworksファイルをこのビューポートに共有できるので、3Dでの設計も同時進行が可能です。

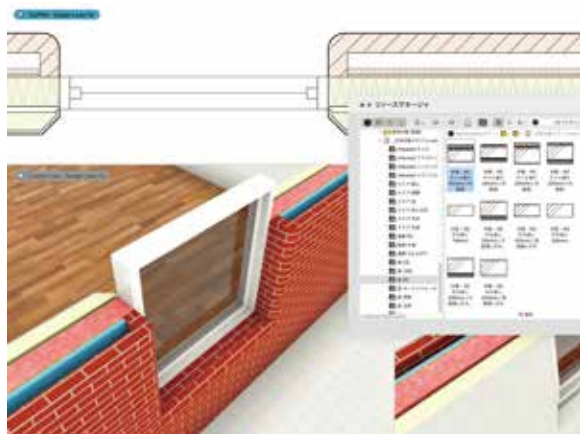
F A L S D



03 専用ツールとスタイル

壁、スラブといった専用のツールが搭載されます。専用ツールは構成要素を設定でき、設定内容はスタイルとして登録できます。スタイルはVectorworksにあらかじめいくつか用意されています。用意されているスタイルをさらにアレンジして数を増やしたり、オリジナルで登録もできます。スタイルは一度作成すれば別のファイルにも活用できるので、使い込むほどに事前準備の時間を短縮できます。

F A L S D



04 多彩なファイル互換

IFCやRevit、3DS、点群、SketchUpなどとの互換を実現します。ファイルをVectorworksにドラッグ&ドロップするだけで、取り込み設定のダイアログボックスが表示され、素早く作業に移ることができます。PDF、Revit、IFC、イメージファイルも参照が可能になり、元図の変更が反映されます。Revit取り出しはCloudで実行でき時間を節約します。IFCはフィルタリングオプションにより容易にデータを管理でき、さらにマッピング機能によって、Vectorworksのファイル構成と一致させながら取り込むことが可能です。

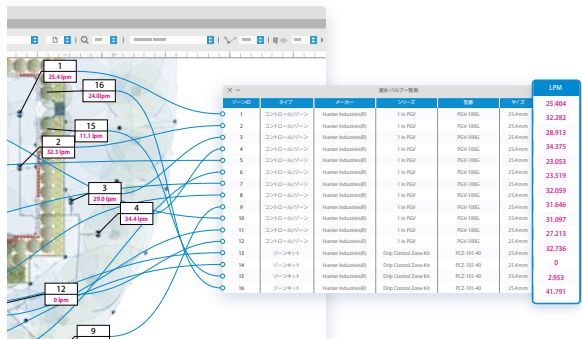
F A L S D



05 関連付けられた情報を表示するデータタグ

データタグは、オブジェクトやシンボルに関連付けられた情報を表示できます。個別に、または自動的に複数のオブジェクトをタグ付けし、グラフィック表示を自由にカスタマイズできます。また、データタグの情報をワークシートに集計することも可能です。オブジェクトのサブパーツも認識できるので、メインのオブジェクトに紐付けたものと同様に連結および番号付けができます。また、データタグフィールドにワークシートと同様の式と条件を使用して定義することも可能です。

F A L S D



07 指定した条件で見分けるデータの可視化

データの可視化機能は、指定条件に合致したオブジェクトを色分けします。視覚的に分かりやすく確認ができるため設定ミスを防ぎます。データの可視化はシートレイヤ上のビューポートだけでなく、デザインレイヤ上でも使用できるため、割り当てた情報をいつでも確認・修正しながら設計を進めることができます。登録ビューに設定することで、素早く可視化することも可能です。

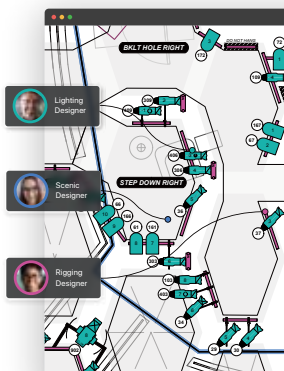
F A L S D



09 プロジェクト共有で協働設計

複数人で設計を進める場合、プロジェクト共有が有効な手段です。共有設定をしたファイルをサーバーやVectorworks Cloud Servicesの共有フォルダに置くだけで開始できます。それぞれの状況を確認しながらも、作業を干渉することなく協働設計を進めることが可能です。また、シンボルやハッチング、壁スタイルなど共通して使うリソースは、ワークグループ機能を使うことで一元管理でき、参照元のファイルを変更するだけで全員のリソースを変更することが可能です。クラウドドキュメントレビューによりVectorworksを所有していない人にも簡単に図面とコメントの共有ができるようになりました。

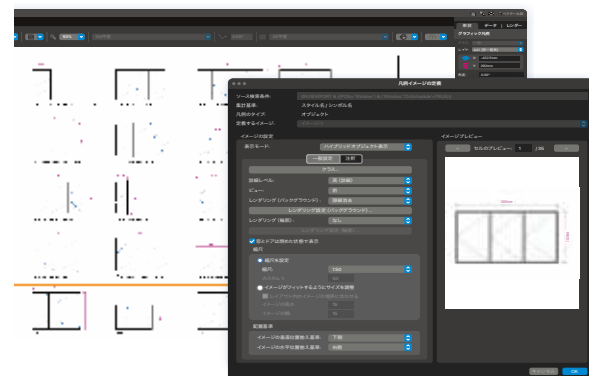
F A L S D



06 グラフィック凡例ツールで簡単作成

建具表をはじめとする姿図の付いた各種一覧表を作成できます。Vectorworksで扱うほぼすべてのオブジェクトタイプをサポートしており、舗床や照明器具などの一覧表の作成も可能です。また、画像の整列や拡大縮小、寸法の変更、動的テキストのカスタマイズなどの編集を簡単に行うことができ、慣れ親しんだ形式で凡例表を作成することが可能です。

F A L S D



08 オブジェクトの表示設定

オブジェクトごとに表示や非表示、ゴースト表示など見え方をコントロールできます。さらに特定オブジェクトだけの表示も容易にでき、カスタマイズした図面やパースを作成してデザインの意図を明確に伝えられます。これらの表示設定は、デザインレイヤやビューポートで利用のほかに、データの可視化に保存することが可能です。クラスやレイヤの機能にプラスして、迅速かつ柔軟なワークフローを提供します。

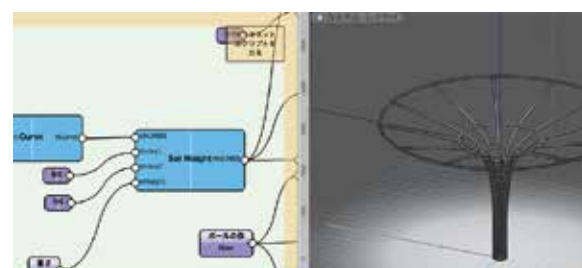
F A L S D



10 ビジュアルスクリプティングを実現するマリオネットツール

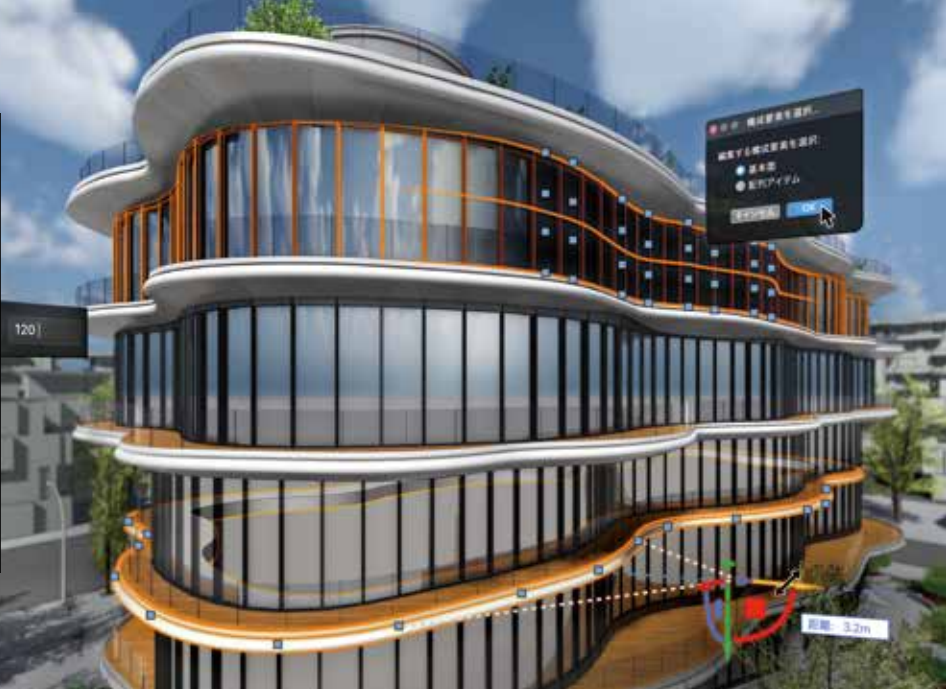
Vectorworksに組み込まれたビジュアルスクリプティング機能、それがマリオネットツールです。プログラミングの知識がほとんどなくても、コードを書く代わりにノードとワイヤーという図形をつなげるだけでプログラミングが完了します。さまざまなデザインや作業の自動化、パラメトリックオブジェクトを作成できます。

F A L S D



ARCHITECT

Vectorworks Architectは、高性能な2D/3D汎用図作機能と3Dビジュアライズ（テクスチャマッピング/レンダリング等）機能に加え、建築設計や内装、ディスプレイデザインに対応した先進的な建築・インテリア設計支援機能、拡張機能、さらには豊富な建築向けのデータライブラリを搭載した建築/内装業界向け製品です。



01 階高設定と空間プログラム

階高を定義するストーリー機能によって、天井仕上げや腰壁天端などのレベルを内包した各階のFLを設計GLからの高さで決定できます。さらに建築オブジェクトはレベルに連動するため、ストーリーの数値を変更するだけで自動修正されます。建築で重要な空間プログラム機能も搭載されています。スペースツールによって、リビングや廊下の部屋名や面積、仕上げなどの情報を定義でき、ワークシートに面積表や仕上げ表として集計可能です。（スペースはSpotlightでも利用可能）

F A L S D



03 BIMツールで効率的にモデリング

壁やスラブなどの専用ツールを使うことで、高さや厚みなどの情報を持たせながら図面表現と3Dモデルを同時に作成できます。設定した情報はスタイルとして保存することで繰り返し利用が可能です。躯体以外にも、床の開口部に沿って簡単に配置できる階段ツール、壁にダイレクトに作図できるドアや窓ツールなどパラメトリックなツールが充実しています。無償提供プラグイン「BIM拡張パッケージ」を使うと、在来軸組や木造建具をはじめ国内仕様のBIMモデリングが可能です。

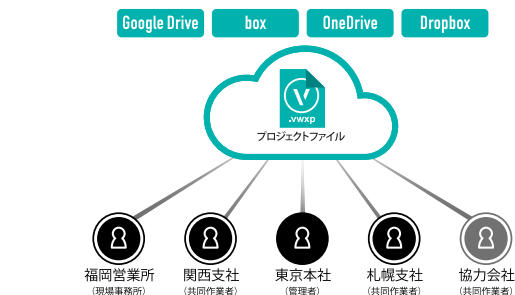
F A L S D



02 設計プロセスを加速させる作業環境

計画の軸線に応じて図面を回転できる機能やオブジェクトごとに表示/非表示をコントロールする機能、レイヤなどのファイル構造を一覧できるナビゲーションパレットによって、迅速かつ柔軟に作業環境を切り替えることができます。複数人で設計を進める場合は、プロジェクト共有機能を使うと、それぞれの状況を確認しながらお互いの作業を干渉することなく協働設計を進めることが可能です。シンボルやテクスチャなどのリソースは、ワークグループ機能を活用することで社内標準を構築できます。

F A L S D



04 柔軟なインテリアデザイン

内装をデザインするパラメトリックツールも搭載されています。キャビネットツールは、モジュール寸法・扉仕様等をカスタマイズ可能です。カウンタートップツールはキャビネットと合わせて使用できます。天板形状・厚み・エッジ仕様等、納まり検討しながら効率的にモデリングできます。シンボルを挿入すると自動的に天板が切り欠かれるため、キッチンのカウンタートップや洗面のワークトップ、受付カウンターなどあらゆる場面でお使いいただけます。

F A L S D



05 敷地と周辺環境の再現

外部ファイルをVectorworksにドラッグ&ドロップするだけで、取り込み設定のダイアログが表示され、素早く作業に移ることができます。国土地理院の数値地図データや測量データ、点群データの取り込みも可能です。現況の地形モデルを素早く作成できます。太陽光設定ツールを使用すると、敷地の緯度経度を設定するだけで年間や1日の日照・日影のシミュレーションを行います。(太陽光設定はSpotlightでも利用可能)

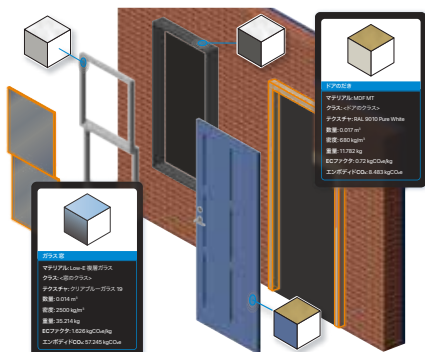
F A L S D



07 段階的に詳細なカスタマイズ

多くの壁やスラブなどは単一材料ではなく、複数の材料で構成されています。それらをスタイルとして保存することで、スタイルを選びながら素早くモデリングできます。作成した壁のスタイルを変更するだけで、詳細な壁に変えることが可能です。2Dおよび3D表現を含む材料の属性やデータを定義するマテリアルを使用すると、構造、エネルギー、分類情報の一元管理ができます。また、スタイルやマテリアルは社内の標準仕様として共有できます。

F A L S D



09 モデルとリンクした図面作成

デザインの次に必要なものは提出物としての設計図書です。作成した建築BIMモデルから各種ビューポート機能を使って、平面図や立面図、断面図や展開図を取り出すことができます。ビューポートはモデルと連動しており、モデルに変更を加えるとビューポートにも変更が反映されます。立断面図ビューポートは、ダブルクリックすることでモデルを直接編集できます。さらに図面枠ツールでプロジェクトや図面の情報と連携した表題欄の作成が可能です。(展開図はArchitect、Design Suiteのみ)

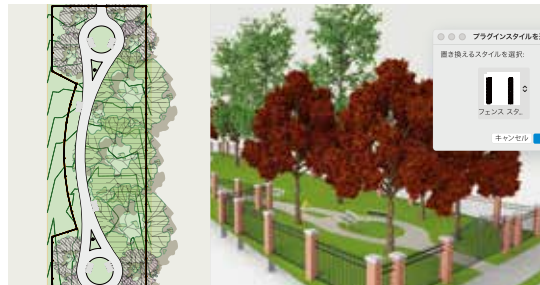
F A L S D



06 外構デザイン

舗装エリアの形状、パターン、マテリアルを設定できる舗装ツールは、玄関から門までのアプローチやカーポートなど幅広く表現します。さらに縁石ツールで舗床オブジェクトに関連付けて舗装の枠をデザインすることも可能です。フェンスツールを使用すると、支柱や門扉などを詳細に表現したフェンスを簡単に作成できます。これらのツールは、スタイルを使用するとデザイン全体で一貫性が保たれ、修正などの手作業を軽減します。(フェンスはSpotlightでも利用可能)

F A L S D



08 データの管理とレポート作成

指定した条件に合致したオブジェクトを色分けするデータの可視化機能や、情報を図面上に表示するデータタグの機能を使用すると、視覚的に情報を確認できるため設定ミスを防ぎます。レポート機能として、情報を一覧表として集計できるワークシートや、オブジェクトのビューや注釈を一覧で取り出し建具表などを作成できるグラフィック凡例ツールも搭載されています。モデルに含まれるIFCやレコード情報は、フィールドのプリセットやオブジェクト情報パレットに表示する項目をカスタマイズすることができるデータマネージャで効率的に管理します。

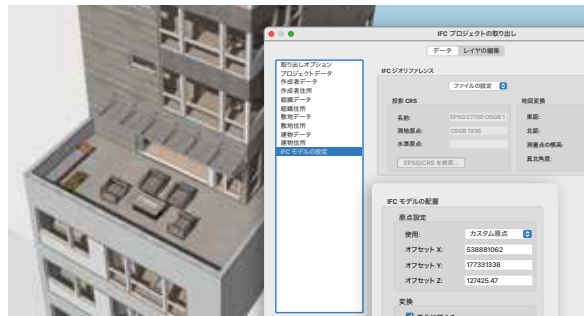
F A L S D



10 シームレスなコラボレーション

作成したファイルは多くの形式での取り出しが可能です。BIMの標準フォーマットであるIFCに正式対応しているため、世界中にある多くのアプリケーションで活用することができます。さらに、BIM分類を共通のルールに基づいて割り当て、BIMコラボレーションワークフローを自動化できます。Revit取り出しでは、壁やスラブ、ドアや窓を、ネイティブなRevit要素およびファミリ、もしくは直接形状として取り出すかどうかを選択できます。また、作成した図面はパブリッシュ機能を使うことで、一括印刷や、PDFをはじめとする各種データへの取り出しが可能です。(BIM分類はArchitect、LandmarkもしくはDesign Suiteのみ)

F A L S D



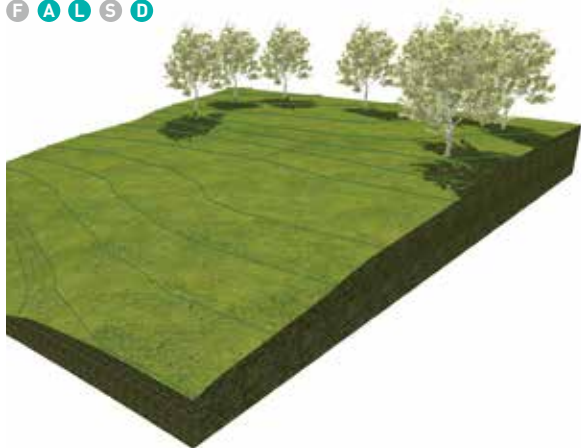
LANDMARK

Vectorworks Landmarkは、高性能な2D/3D汎用図作機能と3Dビジュアライズ（テクスチャマッピング/レンダリング等）機能に加え、地形モデルや多彩な植栽、灌水設備計画等に対応するランドスケープデザイン機能、さらには豊富なデータライブラリを搭載した都市計画/造園業界向け製品です。

01 現況地形の作成

測量データや点群データ、国土地理院の数値地図データを取り込み、現況の地形モデルを素早く作成できます。また、敷地形状や等高線を描画して作成することも可能です。地質測点を指定して地理座標を設けることで、共同作業者とのやり取りをさらにスムーズにします。

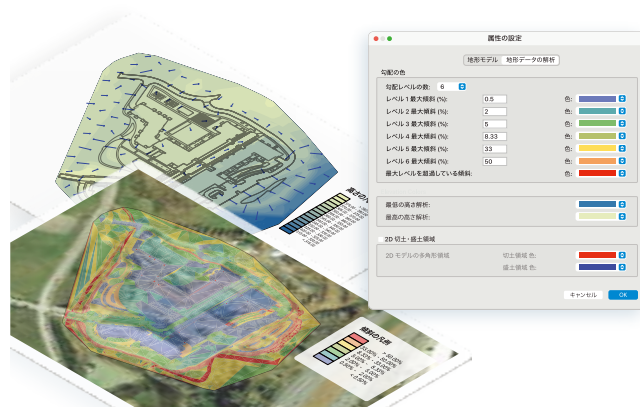
F A L S D



02 造成と土量計算

現況地形から造成面や法面を設定して計画地形を作成します。切土盛土の土量計算はワンクリックで確認できるため、設計の段階から効率よく作業を進めることが可能です。切土盛土の範囲を色別によりわかりやすく表示して現時点でのスナップショットを残しておくことができます。

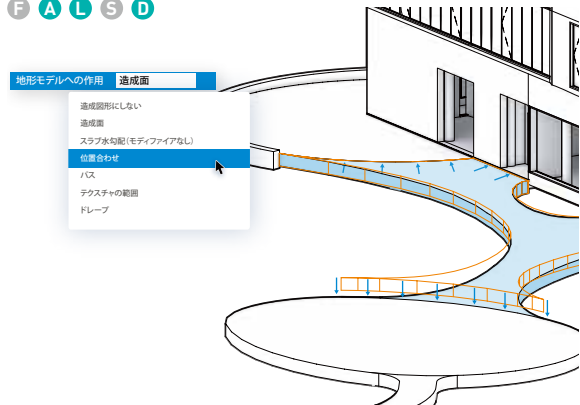
F A L S D



03 傾斜調整が可能な舗装

舗床ツールを使うと、地形の起伏に沿った舗装面を素早く作成したり、正確な上り下りの勾配をつけたり、ほかの舗装面や道路の傾斜にあわせて形状を変えたりと自由自在な表現が可能です。表層・路盤・路床の設定がされている舗装面スタイルが30種類登録され、必要な断面図も切り出して作成することができます。

F A L S D



04 縁石と生け垣

舗装エリアや道路の形状に沿った柵や縁石、側溝の作成が容易にできる縁石ツールを搭載。切り下げや乗り入れ部分の挿入物も追加が可能です。また、地形表面に沿わせた生け垣や建物の高さにあったフェンスも作成でき、計画の効率化とリアルなビジュアル化を支援します。（生け垣はLandmark, Design Suiteのみ。フェンスはSpotlightでも利用可能）

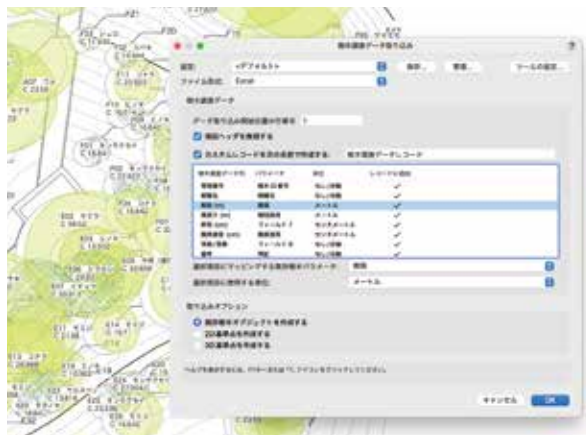
F A L S D



05 既存樹木の管理

元々敷地に植生する樹木をわかりやすく表現したい、撤去や移植を管理したい、そんな時に使えるのが既存樹木ツールです。管理番号や形状を記した調査データを取り込んで画面上にオブジェクトを素早く表示、維持状態に合わせて視覚的にわかりやすく見せることができます。

F A L S D



06 多彩な植栽表現

2D/3Dの表現ができる植栽ツールは、450種以上の植物を搭載。学名や樹種名、花期、用途、画像などが収録されているデータベースから、必要な情報を注記して図面を仕上げられます。また、樹高と枝張りを自由にサイズ調整できるので、5年後10年後の未来予想図の提案も可能です。さらに根鉢や植穴の設定もできるため、植栽工事の際に配管に干渉しないよう計画することができます。ランドスケープエリアを使えば、範囲を指定して複数の植物をレート配置し、寄せ植えや植え込み表現が可能。植物のみならず土壌構成も管理できるため、効率的で詳細な植栽計画をサポートします。

F A L S D



PIRU FAMILY APARTMENTS | COURTESY OF PACIFIC COAST LAND DESIGN

07 灌漑システム

スプリンクラーやドリップチューブなどの散水口を配置し、支管・バルブ・本管と水源を繋いで作る灌漑システムは、部品メーカーのデータに基づき適切な水圧や流量値が自動的に計算されます。有効範囲を色分けし状況に応じてエラーマークが表示されるため、レイアウトに無理があるかどうかを素早く判断できます。

F A L S D



08 魅力的なパース作成

高度なビジュアライズ機能を利用した魅力的なパース作りにご利用いただける各機能を搭載しています。築山の表現ができるスカulpturer、四季折々の植栽が表現できるMaxonプラント、蔓性の植物やトピアリー表現を可能にする群葉、太陽光設定は場所と日時を設定して日差しシミュレーションができ、景観デザインに華を添えます。(Architect、Spotlightは一部機能制限あり)

F A L S D



09 豊富なライブラリ

テーブルや椅子、ベンチ、サンシェード、ガーデンライト、植物用のプランターやパーゴラ、トレリス、アウトドアで使用できるグリルやファイヤーピット、アスレチック遊具や噴水、ゴミ箱、自動車や車止めポールなど、外構や庭、公園の構成に必要な部材は、図面にもパースにも使えるデータを多数搭載しています。

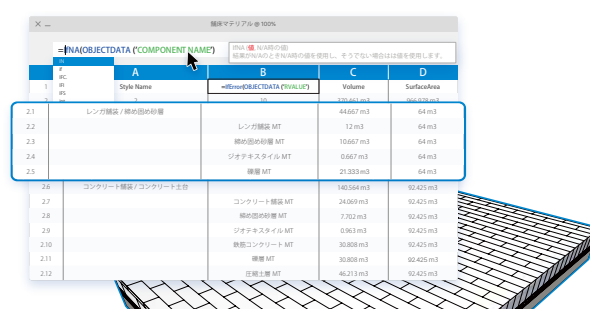
F A L S D



10 データと連動した図面作成

デザインの次に必要なものは、提出物としての設計図書です。作成した3Dモデルから各種ビューポート機能を使って、平面図や立面図、断面図、施工図を作成できます。また図形のデータを拾い出し樹木表や舗装の構成表、面積表を素早く作成することが可能です。プロジェクトに変更があった場合は、元データを修正することで取り出し済みの図面や一覧表をワンクリックで最新状態に更新できます。

F A L S D



SPOTLIGHT

Vectorworks Spotlightは、高性能な2D/3D汎用作図機能と3Dビジュアライズ（テクスチャマッピング/レンダリング等）機能に加え、ステージプランニングやライティング計画に対応した先進的な舞台照明計画支援機能、さらには各種メーカー製のトラスや照明機材、音響機器等の豊富なデータライブラリを搭載したエンタテインメント業界向け製品です。

01 イベント空間のプランニング

大きさにかかわらずイベント空間全体のプランニングをする上で必要な機能が揃っています。ソフトグッズツールでは一文字幕や水平幕、開閉する位置や幅を指定して引割幕も表現できます。座席セクションレイアウトツールでは、配置する座席の範囲や種類などを設定でき、設定した範囲や通路に合うよう自動的に座席が配置、調整されます。また、イベント空間のゾーンを区切るためのメタルフェンスや防護柵などのライブラリも豊富に取り揃えており、野外フェスのイメージパースの作成時にも活用できます。（座席セクションレイアウトは、Architectでも利用可能）

F A L S D



02 ステージデザイン計画機能

野外コンサートやイベントホールで使うさまざまなステージを表現できます。高さ、幅、奥行きを設定したユニットの組み合わせによるシンプルなステージを簡単に作成できるポータブルステージツールと、自由な形状を一から作図してステージを作り上げるカスタムポータブルステージツールの2種類があり、使い分けすることでさまざまなステージを作成することが可能です。また、大型機材を運び入れるためのスロープやステージに上がるための階段なども、ツールを用いて素早く2D、3D同時に作成することができます。

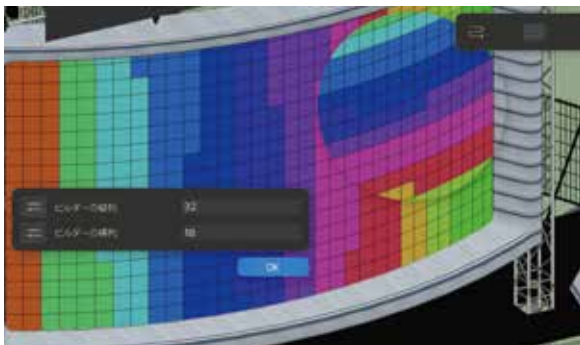
F A L S D



03 動画再生にも対応したさまざまなスクリーン

ビデオスクリーンやスクリーンセットツールを使用することで、アスペクト比やサイズを指定したスクリーンが作成できます。また、スクリーンには静止画だけでなく、Showcaseの機能と連携することで動画再生が可能となり、ステージ表現の幅が大きく広がります。バージョン2026で新たに搭載されたLEDウォールツールでは、直線の基本的なウォールから複雑な曲線や3次元形状まで、あらゆる角度でLEDウォールを設計・プランニングできます。

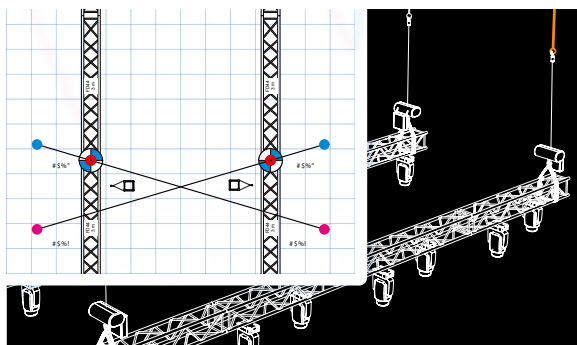
F A L S D



04 専用ツールによる劇場のプランニング

劇場のステージの上部にある照明や舞台美術など、さまざまな役割を持つパトンを、サイズなどの数値や役割を設定しながら作成できます。ストレートパトンのほか、コの字型や円弧のコーナーパトン、ラダー形状のパトンも作成が可能です。また、天井吊り点や構造材から吊り下げるリギングをホイストで連結することが可能です。バージョン2026ではブライダルにスタイルを適用することが可能となり、より詳細な制御と効率性が向上します。

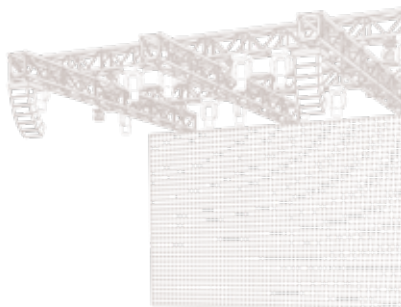
F A L S D



05 複雑なデザインが可能な吊り元作成

TOMCAT、Eurotruss、西尾レントオールなど国内外で使われているトラスメーカーのシンボルオブジェクトを搭載。トラスツールでは、一覧から選択して任意の箇所をクリックするだけで精確に複雑なデザインのトラスを組むことができます。また、トラスの連続配置や各コーナートラスの挿入方向をすばやく変更することができ、3Dビューでも直感的なデザインが可能です。バージョン2026では、新たに搭載されたサイドアームツールとカスタマイズ可能なクランプにより、設計精度とスピードがさらに向上します。

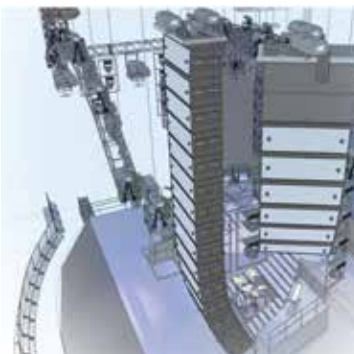
F A L S D



06 音響計画支援機能

Yamaha、L-Acoustic、Meyer Soundなど国内外で使われているスピーカーメーカーのシンボルオブジェクトを1,000種類以上搭載。ライブ会場などに設置するスピーカーアレイの表現も可能で、メーカー製のスピーカーやフレームを指定でき、設置方法もフライングだけでなくグラインドや三脚が選択できます。また、コンサートでは必要不可欠となるピアノ、オーケストラ楽器をはじめ、ライブで使用するドラムセットや、音響の制御卓などのライブラリも豊富に収録しています。

F A L S D



07 豊富な照明機材と自由自在な照明計画

国内メーカーをはじめ世界中で使われている4,000種類以上の照明機材を搭載。機材名・ワット数・重量・照射角度があらかじめ設定され、吊りポジション・アドレス・カラー番号情報なども自由に追加できます。Lighting Deviceツールを使用することで、複数の照明機材を一度の操作で均等配置でき、機材の入れ替えや変更も可能なため作業を大幅に効率化します。仕込図に必要な情報はラベル機能で表示/非表示が設定でき、DMXパッチコマンドでUniverseやChannelの割り当てや競合チェックが可能です。

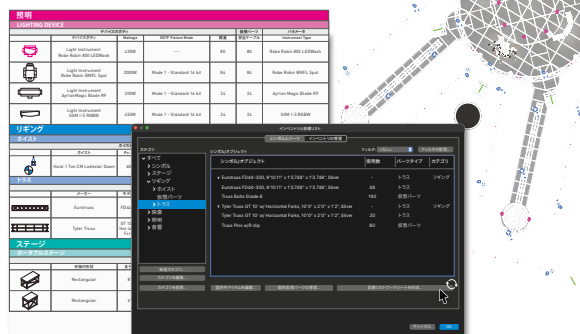
F A L S D



08 データと連動した図面作成とデータベース

Spotlightに搭載された各種ツールは2D、3Dのハイブリッドで作図されるため、投影図ビューポートを使用することで平面図や立面図を一度に作成することができ、モデルの修正や変更も即座に図面へ反映します。また、インベントリと設備リストの機能を使用することで、ファイル内のすべてのSpotlightオブジェクトを簡潔または詳細なレポートに統合できます。仮想パーツや描画していないアイテムもレポートに追加することが可能です。照明、音響、大道具など、業種を問わず活用できます。(投影図ビューポートは、Architect、Landmarkでも利用可能)

F A L S D



09 Showcase (プリビジュアライゼーション)

リアルタイムのプリビジュアライゼーションがVectorworks内で直接利用できるようになり、照明機材の直感的なコントロールが可能になりました。アプリケーションを離れることなくショーのテストが行えます。バージョン2026では、スモークの表現が強化され、より現実的でダイナミックな演出が可能です。また、新たなShowcaseパレットを使用することで、ネットワークの接続状態を常に確認でき、Showcaseの開始や停止もスムーズに行えるようになりました。

F A L S D



10 ビジュアライザーとの連携

Vectorworksで作成した3DモデルをDXF、C4D、3DSなどに変換でき、業界で使われている各種ビジュアライザーで利用可能です。また、業界最先端の共通ファイルフォーマットMVRをサポートしているため、さまざまなビジュアライザーやgrandMA3などのコンソールとデータ互換ができます。各照明機材に適用したGDTFファイルは、作図中やMVRへの変換時など、常に最新データへ更新することが可能で、高い互換性を維持します。

F A L S D



PUBG | Courtesy of Live Legends

NOMAD

Vectorworks Nomadは、モバイル端末からVectorworksファイルにアクセスできるアプリです。現場や外出先でVectorworksファイルを閲覧や共有するほか、モバイルのカメラを利用して現実にあるものを取り込んだりARで見せることが可能です。

※モバイルアプリ「Vectorworks Nomad」はiPhoneはApp Store、AndroidはGoogle Playからダウンロードできます。

01 モバイルでファイルを閲覧

Cloud Servicesにアップしたファイルをモバイルで閲覧できます。またVectorworks NomadからもVWXファイルを3DモデルやPDFファイルにすることが可能。いつでもどこでもデータを確認しプレゼンテーションや共同作業に使うことができます。



02 オブジェクトキャプチャ

パースにしたい図形が現実にある場合はもうモデリングに悩む必要はありません。写真から3Dモデルを作成することが可能です。また、LiDAR対応デバイスを使えば、オブジェクトキャプチャ機能でデバイスにあるカメラからスキャンして形状を作成することができます。



04 見取り図

LiDAR対応デバイスを使えば、壁や窓、開口部、ドアを自動で認識した部屋全体の3Dモデルを素早く簡単に作成できます。現場や外出先でもデバイスで手軽に作成したデータで、設計検討や打ち合わせに役立てられます。

Subscription

Service Select



03 点群データを作成

LiDAR対応デバイスでスキャンして、点群データを作成することができます。Vectorworksに取り込むことで点群データから地形モデルを作成したり、モデルデータと融合させて不要な部分は編集することが可能です。臨場感のあるリアルな表現と効率的なモデリング環境を提供します。(iPhoneのLiDARセンサーの最大照射距離は5m)



05 ARで3Dモデルを表現

作成した3Dモデルは、現実の空間にバーチャルで表現することができます。配置したい位置を認識させたら画面上にモデルが現れ、角度を変えたりサイズの調整が可能です。実際の配置イメージを直感的に確認できる便利な拡張現実 (AR) 機能です。



PRODUCT TYPES

スタンドアロン版 サブスクリプション・永続ライセンス



インターネット経由でライセンス認証してVectorworksソフトウェアを使用することができます。1ライセンスで2台のマシンにインストール可能で、場所を選ばず外出先などでも作業がはかどるだけでなく、導入後のメンテナンスも容易になるため、時間やコストの削減が期待できます。1ライセンスから購入可能で、オフィスと外出用パソコンの2台持ちでの利用、リモートワークにおすすめです。

| | |
|------------|--|
| インストール可能台数 | 1ライセンスで2台のパソコンにインストール可能 ※ 同時起動はできません |
| 起動認証 | インターネット経由のアクティベーション ※ 30日間はネットワークから切り離して利用可能 |
| ライセンス管理方法 | インストールするパソコンごとにライセンス管理 |
| その他 | ・ インターネット接続環境が必須 ・ Vectorworksアカウントの登録が必須 |
| 購入単位 | 1ライセンスから購入可能 |
| 利用シーン | ・ オフィスと外出用パソコンの2台持ちで利用したい ・ リモートワーク ・ 個人の設計事務所 |

費用負担の軽減と柔軟なライセンス運用を実現するVectorworks サブスクリプション

サブスクリプションライセンスは導入の費用を抑え、定期的な支払いにより費用負担を軽減できるライセンスです。さらに製品使用料にサブスクリプション契約者特典*が付属しているため、業務効率化に役立つさまざまなサービスがご利用いただけます。永続ライセンスで、同内容の特典をご利用いただくにはVectorworks Service Select契約が別途必要となります。

※サブスクリプション契約者特典（専用のテクニカルサポート回線、インターネットLiveサポート、クラウドサービスでの追加機能の使用、セミナー価格の優遇など）を提供します。

詳しくはこちら
<https://www.vectorworks.co.jp/subscription/>



■ サブスクリプションライセンスと永続ライセンスの主な違い

| 種 類 | | サブスクリプションライセンス | | 永続ライセンス |
|----------|------------------------------|----------------|----------|--------------------------|
| 利用期間 | | 年間 | 月間 | 永続 |
| ライセンスタイプ | | スタンドアロン版 | | スタンドアロン版 / ネットワーク版 |
| 価格（税込） | Fundamentals | 132,000 円 | 13,200 円 | 393,800 円 |
| | Architect Landmark Spotlight | 198,000 円 | 19,800 円 | 523,600 円 |
| | Design Suite | 264,000 円 | 26,400 円 | 676,500 円 |
| | ソフトウェアアップデート | 無償（ライセンス期間中） | | 有償（バージョンアップ対象は3バージョン前まで） |

※表記価格は消費税を含んだ税込価格です。※月間サブスクリプションは、直接ベクターワークスジャパンへの申し込みとなります。販売店/家電量販店経由ではお申し込みいただけません。

ネットワーク版 永続ライセンス



サーバー/クライアント形式でライセンスを管理し、Vectorworksソフトウェアを使用することができます。サーバー用コンピューター上のVectorworks Site Protection Server（以下、ライセンス管理ソフトウェア）が同時起動するライセンス数を管理し、クライアント用コンピューターで、必要な時に、ライセンス管理ソフトウェアからライセンスを取得してVectorworksを起動することができます。

| | |
|------------|--|
| インストール可能台数 | インストール台数の制限なし ※ 同時起動数をサーバーで管理 |
| 起動認証 | 同一LAN内のサーバー用コンピューターでの認証 ※ 最長30日間のライセンス持ち出し機能が利用可能 |
| ライセンス管理方法 | サーバーでライセンス一括管理 |
| その他 | ・ インターネット経由のアクティベーション ・ Vectorworksアカウントの登録が必須 |
| 購入単位 | 5ライセンスから購入可能 ※ 追加ライセンスは1本から購入可能 |
| 利用シーン | ・ 複数の部署間で共同利用 ・ サーバーで全ライセンスを管理したい |

VECTORWORKS SERVICE SELECT・SUBSCRIPTION

Subscription

Service Select

サブスクリプション・Vectorworks Service Select (以下Service Select) 契約者は、永続ライセンスのみではご利用できないテクニカルサポートや、業務を効率化するクラウド機能など、さまざまなコンテンツを契約者特典として制限なくご利用いただけます。

※サブスクリプション・Service Select契約では一部利用できる機能が異なります。詳しくは対応マークをご確認ください。

詳しくはこちらから



サブスクリプション Service Select

01 UPDATES + SUPPORT

ソフトウェアアップデート

旧バージョンの使用許諾

テクニカルサポート

02 CLOUD SERVICES

Cloud Services ストレージ

クラウドストレージのVWXファイルからPDF生成

写真から3Dモデルを生成(写真測量)

03 CONTENT + TOOLS

Vectorworks University

SimTread

AI Visualizer

その他、さまざまなサービスがご利用いただけます。詳しくはサービスカタログをご確認ください。

VERSION UP SERVICE

バージョンアップサービス

現在お使いのVectorworks永続ライセンスのバージョンが、2025、2024、または2023の場合、最新バージョンであるVectorworks 2026へバージョンアップできる有償サービスです。バージョンアップと同時にService Select契約をされると、契約特典をご利用いただけます。



バージョンアップ対象のお客様へは「バージョンアップのご案内」をVectorworks 2026 の発売時にお送りします。郵送が確認できないなどご不明点がございましたら、カスタマーサポートまでご連絡ください。

PLUG INS & RESOURCES

ADS-BT for Vectorworks



Vectorworks上で建築設計における斜線制限と逆日影計算・等時間日影計算・天空率計算などの高さ制限解析をサポートするVectorworksプラグインです。(開発:生活産業研究所株式会社)

スタンドアロン版/ネットワーク版

308,000円

Vectorworks素材集 3D植栽編/インドアグリーン編



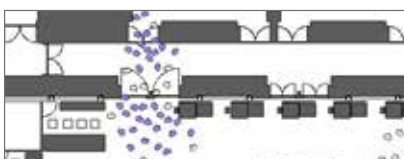
常緑樹・落葉樹・低木・草花など使いやすい植栽を収録した[3D植栽編]植物と鉢の組み合わせが可能な植栽を収録した[インドアグリーン編]がごございます。(開発:株式会社ユニマットリック)

各種 33,000円

SimTread

Subscription

Service Select



これまで困難だった"人の流れ"や"群集の波"を、Vectorworks上で簡単に視覚化するプラグインです。建築物や大型イベント等における誘導計画や船舶、旅客機などの避難シミュレーションを可能にします。

※サブスクリプション・Vectorworks Service Select契約者が無償にてご利用いただけます。

MAXON製品



MAXON
A NEMETSCHEK COMPANY

各種Maxon製品を利用することで、ハイクオリティな3Dモデリング、レンダリングを実現します。

[取り扱い製品]

MAXON ONE/CINEMA 4D/RED SHIFT/RED GIANT/UNIVERSE/ZBrush

BIM拡張パッケージ



木造BIMツールや木造建具ツール、平均地盤面計算などの国内仕様に合わせたツール類を1つにまとめました。VectorworksのBIM機能を拡張し、業務効率を大きく高めます。

※ Vectorworks Architect, Landmark, Spotlightまたは Design Suiteで無償にてご利用いただけます。

作図補助パッケージ

標準のツールでは手間がかかるものを便利に、作図が難しいものを可能にするツール集です。パス押し出しオフセットツールと接円・周長円ツールが搭載されています。

DICカラーガイド

DIC株式会社のDICカラーガイドシリーズをVectorworksのカラーパレットでご利用いただけるライブラリです。1,289色を収録し、建築やインテリア、プロダクトデザインなど、さまざまなシーンでご利用いただけます。

MORE INFORMATION

EDUCATIONAL CONTENT

Vectorworks Webサイトにて公開している学習コンテンツです

Vectorworks University

オンラインラーニング

Vectorworks Universityは、ユーザーがより自由にVectorworksについて学び、新機能や操作のヒントなどさまざまな情報を得られるコンテンツを集約したサイトです。University内では、スキルを十分に習得していることを証明するための「Vectorworks検定」もごさいます。ご自身のスキルを証明し、差別化を図り、キャリアアップをするために役立てください。



ユーザーフォーラム

オンラインラーニング

Vectorworksユーザーフォーラムは、ユーザー同士が自由にVectorworksについて質問したり、自作のシンボルなどのリソースをアップロードするなど、さらにVectorworksを便利に活用できる環境を目指したサイトです。基本的な操作方法から、建築やランドスケープなどの専門的な利用方法まで多岐にわたるフォーラムをご用意しています。質問が増えれば増えるほど、さまざまな疑問を解決できる場所になっていきます。※ご利用にはアカウント作成、およびログインが必要です。



Vectorworks NAVI

オンラインラーニング

Vectorworksのよくある操作質問や各種機能についてのTipsをまとめています。よくお問い合わせいただく機能に関して、基本的な利用方法の解説や、応用方法などを紹介しています。



チュートリアル

オンラインラーニング

Vectorworks Webサイトでは、より詳しくVectorworksの機能を学ぶためのチュートリアルを公開しています。初心者向けのショートカットから、組織におけるBIM導入のプランニングまで、さまざまな内容のチュートリアルがごさいます。



HANDS ON SEMINAR

全国各地で出張開催するセミナーです

オープンキャンパス

リアルセミナー

全国各地で出張開催するセミナーです。操作体験セミナーや機能Tips習得のセミナー、さらに普段お困りのことを何でもご相談いただける「よろず相談」などを行います。お近くで開催の際はぜひご参加ください。



BIM CAMP

リアルセミナー

VectorworksにてBIM設計を学べるセミナーです。BIMハンズオン体験や特別講演など、内容は年毎に変わります。BIM未経験の方、2D設計からステップアップしたい方、3D設計やBIMに再チャレンジしたい方、そしてVectorworksをまだ使ったことのない方も大歓迎です。初心者から中級者までを対象とした内容となります。



TRAINING

リアルタイムで開催するトレーニングセミナーです

カスタマイズセミナー

オンラインセミナー

リアルセミナー

効率的なスキルアップのために、「カスタマイズセミナー」をご用意しています。ご要望に合わせたオーダーメイド講習です。実務に合ったカリキュラム構成や新入社員向けの講習など、お客様のニーズに合わせたカリキュラムをご提案させていただきます。



Subscription

Service Select

Q&A ライブセッション

オンラインセミナー

動画学習コンテンツ「Vectorworks University」内の対象動画についてのご質問にお答えします。またQ&Aの前にVectorworks機能をさらに活用いただけるTipsをご紹介します。Vectorworksのスキルアップにぜひ役立てください。



Subscription

Service Select

FOR STUDENTS

CAD教育の授業環境を充実させるVectorworks教育支援ライセンス



教育機関向けライセンス（無償）

学校の教室や研究室などでご利用いただける、授業支援ライセンスです。提供されるライセンスは、Vectorworks Design Suite ネットワーク版（永続ライセンス）で、バージョンアップ希望時は都度申請が必要です。

学生・教職員向けライセンス（無償）

設計やデザインを学ぶ学生、および教職員を対象とした個人向けライセンスです。提供されるライセンスはVectorworks Design Suite スタンドアロン版（使用可能期間1年間）で、継続使用の場合は1年ごとに延長申請が必要です。

student2PRO

Vectorworks学生・教職員向けライセンス（旧Vectorworks 学生単年度版を含む）をご利用になられた学生のみ特別価格でスタンドアロン版永続ライセンスへの乗り換えができるスペシャルプランです。

STUDENT
2PRO

SYSTEM REQUIREMENTS

Vectorworks 2026 動作環境

条件を満たしていない場合、Vectorworksが正常に動作しない場合があります。Vectorworksを快適にご使用いただくために、条件を満たしたコンピューター (Mac / Windows) でご使用になることを強くお勧めします。

スタンドアロン版 動作環境

| スタンドアロン版 (サブスクリプションライセンス / 永続ライセンス) | | | |
|--|--|---|--|
| | Windows | Mac | |
| OS | Windows 11 | macOS 26 (Tahoe) macOS 14 (Sonoma) | macOS 15 (Sequoia) |
| | エントリー | ミドル(推奨) | ハイエンド |
| 目安となるデータの規模 | • 2D図面 • 簡単な3Dモデリング | • 詳細な2D図面 • 詳細な3Dのモデリング • 小中規模BIM • レンダリング | • 詳細な2D図面 • 非常に複雑かつ詳細な3Dモデリング • 大規模BIM • レンダリング • Showcase機能を使用したプリビズ |
| CPU | • Intel Core i5、AMD Ryzen 5、 またはそれと同等以上のもの • Apple M1以上 | • 6コア以上搭載で2GHz以上の Intel Core i7、AMD Ryzen 7、またはそれと同等以上のもの • Apple M1 Pro以上 | • 8コア以上搭載で3GHz以上の Intel Core i7、AMD Ryzen 7、またはそれと同等以上のもの • Apple M1 Max以上 |
| ※ARM系プロセッサを搭載したWindows PCはサポートされていません。 ※AVX2に未対応のCPUではRenderworksを使用できません。 | | | |
| メモリ | Windows: 8GB以上 Mac (Intel) : 8GB以上 Mac (Mシリーズ) : 16GB以上 | 16GB以上 | 32GB以上 |
| グラフィックス | 以下の条件を満たすグラフィックカード • Windows: DirectX 11互換、2GB以上のVRAM • Mac (Intel) : Metal GPUFamily1以上、2GB以上のVRAM • Mac (Mシリーズ) : M1 16GB以上 | 以下の条件を満たすグラフィックカード • Windows: DirectX 11互換、4GB以上のVRAM • Mac (Intel) : Metal GPUFamily1 v4以上、4GB以上のVRAM • Mac (Mシリーズ) : M1 Pro 16GB以上 | 以下の条件を満たすグラフィックカード • Windows: DirectX 11互換、8GB以上のVRAM • Mac (Intel) : Metal GPUFamily2以上、8GB以上のVRAM • Mac (Mシリーズ) : M1 Max 32GB以上 |
| ※CPU内蔵グラフィックスは非推奨。やむをえずCPU内蔵グラフィックスを使用する場合は、Intel Iris Plus/Pro/Xeをご使用ください。Intel Iris Plus/Pro/Xeシリーズは、単純なモデルや図面には使用可能ですが、専用グラフィックスカードの使用を推奨いたします。Intel HD Graphics/UHD Graphicsでは正常に動作しない場合があります。 | | | |
| ディスク容量 | 65GB以上 (オプションライブラリ42GBを含む) インストールには 50GB 以上の空きディスク容量が必要です。そのうち 20GB は一時的な保存領域として使用されます。すべてのライブラリを含むフルインストールには 65GB 以上が必要です。 • フラッシュストレージ (SSD) にVectorworksをインストールすることで動作速度が向上します。 | | |
| 画面解像度 | 1440 x 900以上 | 1920 x 1080以上 | |
| その他 | • インストール、アクティベーション、アップデートのためのインターネット接続環境が必要です。 • ご使用にあたりVectorworksアカウントの登録、製品のユーザー登録 (永続ライセンスのみ) が必要です。 • 大文字と小文字を区別するファイルシステムはサポートされていません。 • 日本語OS環境でご利用ください。 • コンピューター (Mac / Windows) のユーザーアカウント名、および Vectorworks のインストール先のフォルダパスには、2バイト文字 (日本語など) を使用しないでください。 • リアリスティックRSを利用するレンダリングはリアリスティックRS動作環境をご確認ください。 | | |

※記載されている情報は2025年11月現在のものです。より詳細な情報につきましては、弊社Webサイトをご確認ください。

リアリスティックRS動作環境

「リアリスティックRS」レンダリングスタイルは、コンピューターのGPUとCPUを使用してフォトリアリスティックレンダリングを実行します。動作要件を満たす場合、リアリスティックRSはコンピューターのGPUをレンダリングに使用します。GPUが要件を満たさない場合は、コンピューターのCPUのみがリアリスティックRSレンダリングの実行に使用されます。

| GPUを使用 | | | |
|--|---|--|---|
| Windows | | Mac | |
| Windows 11 | | macOS 14 (Sonoma)以降 | |
| 最小 | 推奨 | 最小 | 推奨 |
| • 8GB以上のメモリ • 8GB以上のVRAMを搭載したCUDA5.0以上のNVIDIAのシングルGPU | • 3.0GHz以上のIntel Core i7、Xeon、またはそれと同等以上のCPU • 16GB以上のメモリ • 16GB以上のVRAMを搭載したCUDA7.0以上のNVIDIAのマルチGPU | • Mシリーズ: Apple M1および16GB以上のメモリ • Intel Mac: 16GB以上のメモリおよび8GB以上のVRAMを搭載したAMD Navi、あるいはVega以降のシングルGPU | • Mシリーズ: Apple M1 Maxおよび32GB以上のメモリ • Intel Mac: 16GB以上のメモリおよび8GB以上のVRAMを搭載したAMD Navi、あるいはVega以降のマルチGPU |

| CPUのみ使用 | |
|--|---|
| Windows | Mac |
| • Windows 11 • SSE2対応のプロセッサ (Pentium4以上) • 8GB以上のメモリ | • macOS 14 (Sonoma)以降 • Mシリーズ: Apple M1および16GB以上のメモリ • Intel Mac: 8GB以上のメモリ |

※記載されている情報は2025年11月現在のものです。より詳細な情報につきましては、弊社Webサイトをご確認ください。
※リアリスティックRSをサポートしているAMD GPUについての情報は、弊社Webサイトをご確認ください。



ネットワーク版 動作環境

Vectorworks 2026 ネットワーク版 クライアント(永続ライセンス)

| | |
|--------------|--|
| 動作環境 | Vectorworks 2026 スタンドアロン版の動作環境に準じます。 ※Vectorworks 2026版のVectorworks Site Protection Server (ライセンス管理ソフトウェア) が必要です。 |
| スタンドアロン版との差異 | Vectorworksクライアントから直接インターネット経由のアクティベーションは行いません。 |

Vectorworks Site Protection Server (ライセンス管理ソフトウェア)

| | Windows | Mac |
|--------|--|--|
| OS | Windows 11 Windows Server 2019以上 | macOS 15 (Sequoia) macOS 14 (Sonoma) macOS 13 (Ventura) macOS 12 (Monterey) macOS 11 (Big Sur) |
| 起動認証方式 | インターネット経由のアクティベーション | |
| CPU | 64-bit Intel Core 2 Duo以上 | <ul style="list-style-type: none"> 64-bit Intel Core 2 Duo以上 Apple M1以上 |
| メモリ | 4GB以上 | |
| ディスク容量 | 100MB以上 | |
| その他 | <ul style="list-style-type: none"> サーバー専用のコンピューター (Mac / Windows) を推奨します。 アクティベーションのためのインターネット接続環境が必要です。 TCP / IPプロトコルが必要です。 100Mbps以上の速度のネットワーク回線が必要です。 サーバー / クライアント型のネットワーク環境、またはそれに準じたネットワークが整備された環境が必要です。 ※サーバーとクライアントは同一ネットワーク上で使用してください。 サーバーアプリケーション管理のためのブラウザソフトが必要です。 ※サーバー管理画面は英語表記になります。 対応クライアントアプリケーション <ul style="list-style-type: none"> Vectorworks 2018~2026 ネットワーク版 Vectorworks 2015~2017 サイトプロテクションネットワーク版 Vectorworks 2014 ネットワーク版 シリーズG 大文字と小文字を区別するファイルシステムはサポートされていません。 ネットワーク版は仮想化環境ではご利用いただけません。仮想化環境でご利用いただくには特別なお手続きが必要です。リモート環境および仮想マシンについてをご確認ください。 | |

セットアップマニュアル

スタンドアロン版向けのインストールから起動までを解説したガイドや、Vectorworksネットワーク版のサーバー、クライアントの設定手順を記載したガイド等、Vectorworksの設定をサポートするドキュメントを各種公開しています。

ダウンロードはこちらから https://www.vectorworks.co.jp/ct/dl_manual.html



VECTORWORKS 2026 評価版

Vectorworks製品を導入する前に、ご使用のパソコン上で正常に動作するか評価版を使用して確認することをお勧めします。評価版ではVectorworks 2026 各プロダクト製品の性能・機能をお試しいただけます。

ダウンロードはこちらから <https://customers.vectorworks.net/trial?lang=ja>



最新の情報は弊社Webサイトをご確認ください。
<https://www.vectorworks.co.jp/Support/sysreq/vw2026.html>



主な機能一覧

| ベーステクノロジー | F | A | L | S | D | 2D/3D基本機能 | F | A | L | S | D | 建築・内装設計機能 | F | A | L | S | D |
|----------------------------|---|---|---|---|---|-----------------------------|---|---|---|---|---|-------------------|---|---|---|---|---|
| Parasolidモデリングカーネル | ● | ● | ● | ● | ● | オブジェクトレベルの表示設定 | - | ● | ● | ● | ● | BIMobjectツール | - | ● | ● | - | ● |
| 高速な描画テクノロジー (VGM) | ● | ● | ● | ● | ● | ビューポートレンダリング | ● | ● | ● | ● | ● | Revit取り込み・取り出し・参照 | - | ● | ● | ● | ● |
| Cinewareレンダリングエンジン | ● | ● | ● | ● | ● | パスベースのワークスルーアニメーション | ● | ● | ● | ● | ● | IFC取り込み・取り出し・参照 | - | ● | ● | ● | ● |
| | | | | | | 写真と3Dの合成 (Camera Match) | ● | ● | ● | ● | ● | Solibriダイレクト接続 | - | ● | ● | ● | ● |
| | | | | | | イメージエフェクト | ● | ● | ● | ● | ● | | | | | | |
| 2D/3D基本機能 | F | A | L | S | D | 豊富なシェダ | ● | ● | ● | ● | ● | | | | | | |
| 線と面の2D汎用作図編集 | ● | ● | ● | ● | ● | パララックスパン/シャドウキャッチャー | ● | ● | ● | ● | ● | | | | | | |
| 図形への透過/影表現 | ● | ● | ● | ● | ● | 背景デクスチャ/背景放射光/フィジカルスカイ | ● | ● | ● | ● | ● | | | | | | |
| 2D/3D対応の文字、寸法作図 | ● | ● | ● | ● | ● | コーステクスフオン | ● | ● | ● | ● | ● | | | | | | |
| スナップルーベ・X線選択モード | ● | ● | ● | ● | ● | ソフトシャドウ/アンビエントオクルージョン | ● | ● | ● | ● | ● | | | | | | |
| スマートオプションディスプレイとクリック検索 | ● | ● | ● | ● | ● | CPUでも利用可能なリアルスティックRSLレンダリング | ● | ● | ● | ● | ● | | | | | | |
| オンスクリーンビューコントロール | ● | ● | ● | ● | ● | VGX(AR)、パノラマビュー取り出し | ● | ● | ● | ● | ● | | | | | | |
| イメージのクロップ/圧縮 | ● | ● | ● | ● | ● | Datasmithダイレクトリンク | ● | ● | ● | ● | ● | | | | | | |
| データベース/ワークシート | ● | ● | ● | ● | ● | Omniverseコネクタ (Windowsのみ) | ● | ● | ● | ● | ● | | | | | | |
| シートレイヤ・ビューポート | ● | ● | ● | ● | ● | | | | | | | | | | | | |
| デザインレイヤ・ビューポート | - | ● | ● | ● | ● | 建築・内装設計機能 | F | A | L | S | D | | | | | | |
| ビューポートスタイル | ● | ● | ● | ● | ● | マテリアル作成 | - | ● | ● | ● | ● | | | | | | |
| オーガナイザ (図面構造の集中管理) | ● | ● | ● | ● | ● | データマネージャとデータタグ | - | ● | ● | ● | ● | | | | | | |
| リソースマネージャ (リソースの総合管理) | ● | ● | ● | ● | ● | グリッド線(通り芯)とレベル基準線 | - | ● | ● | ● | ● | | | | | | |
| 名前の一括変換 | ● | ● | ● | ● | ● | スペース作成 (空間定義)/部屋仕上げ | - | ● | ● | ● | ● | | | | | | |
| ハイブリッドシンボル/2Dコンポーネント | ● | ● | ● | ● | ● | ストーリー[階層]管理 | - | ● | ● | - | ● | | | | | | |
| フローティングデータバー | ● | ● | ● | ● | ● | スタイルに対応した構造材 | - | ● | - | ● | ● | | | | | | |
| ウインドウタブ/タブパレットの切り離し | ● | ● | ● | ● | ● | キャビネット/カウンタートップ | - | ● | ● | ● | ● | | | | | | |
| 2D→3Dへのプッシュ/プルモード | ● | ● | ● | ● | ● | 壁/カーテンウォール作成 | - | ● | ● | ● | ● | | | | | | |
| 多彩で強力な3Dモデリング/編集 | ● | ● | ● | ● | ● | スラブ/水勾配作成 | - | ● | ● | ● | ● | | | | | | |
| 統合ビュー | ● | ● | ● | ● | ● | 屋根作成 | - | ● | ● | ● | ● | | | | | | |
| クリップキューブ (3Dモデルのリアルタイム切断) | ● | ● | ● | ● | ● | 壁/スラブ/屋根スタイル (構成要素) | - | ● | ● | ● | ● | | | | | | |
| 2D/3D対応のワーキングプレーン | ● | ● | ● | ● | ● | ドア/窓作成 | - | ● | ● | ● | ● | | | | | | |
| 協働設計支援 (プロジェクト共有) | - | ● | ● | ● | ● | 階段/手摺/フェンス作成 | - | ● | ● | ● | ● | | | | | | |
| クラウド連携・リモート | ● | ● | ● | ● | ● | プラグインオブジェクトスタイル | ● | ● | ● | ● | ● | | | | | | |
| DXF/DWG取り込み・取り出し | ● | ● | ● | ● | ● | 詳細図/投影図ビューポート | - | ● | ● | ● | ● | | | | | | |
| PDF (2d) 取り込み・取り出し | ● | ● | ● | ● | ● | 水平・垂直断面ビューポート | - | ● | ● | ● | ● | | | | | | |
| PDF (3d) 取り出し | - | ● | ● | ● | ● | 室内展開図ビューポート | - | ● | - | - | ● | | | | | | |
| Excel参照・取り込み・取り出し | ● | ● | ● | ● | ● | データの可視化 (デザインレイヤ/ビューポート) | - | ● | ● | ● | ● | | | | | | |
| パブリッシュ (DXF/DWG/DWF/Excel) | ● | ● | ● | ● | ● | ビューポートのリアルタイム編集 | - | ● | ● | ● | ● | | | | | | |
| パブリッシュ (PDF/印刷/イメージ) | - | ● | ● | ● | ● | 表題欄マネージャ | - | ● | ● | ● | ● | | | | | | |
| 3Dレンダリング | ● | ● | ● | ● | ● | カスタマイズ可能なグラフィック凡例 | - | ● | ● | ● | ● | | | | | | |
| バックグラウンドレンダリング | ● | ● | ● | ● | ● | | | | | | | | | | | | |

ファイル互換一覧

| | F | A | L | S | D |
|---|---|---|---|---|---|
| 取り込み | | | | | |
| DXF・DWG (R2.5~2026)/DWF (4.2・5.5・6.0)/3D DWF (6.01)/DWFX (6.02)/イメージファイル (BMP・GIF・JPG・JPEG・PNG・TIFF・ICO [Windowsのみ: WDP・DDS・EMF]・[Macのみ: SGI・TGA・EXR・PSD・ICNS・PBM・PGM・PPM・HDR・PCT・JP2])/PDF/ワークシート (TXT・CSV・DIF・SLK・XLS・XLSX)/スクリプト (TXT・VSS・VS・PY・PXC・XPT・MPC)/IGES (IGS・IGES)/OBJ/SAT/STEP (STP・STEP)/STL/Rhino 3DM (1~7)/Parasolid X_T (9~37)/Cinema 4Dデクスチャ (R13~2026)/USD (usd/usda/usdc/usdz)/mtxturデクスチャ/Arrowayデクスチャ/OBJ (HDR・EXR・JPG・PNG)/Distributionファイル (IES)/MCD (JWW)/VWXX (2008~2025)/Mosa Pattern / シンボル (DXF・DWG・IGES・HDBJ・SAT・STEP・STL・Rhino 3DM・Parasolid X_T)/Jw_cad(JWW・JWS) | ● | ● | ● | ● | ● |
| IFC・IFCXML・IFCZIP (2x2・2x3・4)/Revit2011~2026 (RVT・RFA)/3DS/SketchUp (SKP 4~2025)/点群 (LAZ・LAS・PTS・E57・XYZ・PLY)/PartSpec(DXF・DWG・SAT・IGS)/隣接マトリックス (TXT・CSV)/BCF・BCFZIP/ ジオリアレンスイメージ (BPW・JGW・PGW・TFW・GFW・WLD・ECW)/シンボル (3DS・SKP) | - | ● | ● | ● | ● |
| Shape (SHP)/座標データ (TXT・CSV) | - | ● | ● | - | ● |
| 照明器具情報 (Lightwright5~6)/MVR (1.6)/GDTF (1.2) | - | - | - | ● | ● |
| 参照 | | | | | |
| DXF・DWG(R2.5~2026)/DWF(4.2・5.5・6.0)/ワークシート(XLS・XLSX)/VWXX(2026 [レイヤ参照]) | ● | ● | ● | ● | ● |
| イメージファイル (BMP・GIF・JPG・JPEG・PNG・TIFF・ICO [Windowsのみ: DDS]・[Macのみ: SGI・TGA・EXR・PSD・ICNS・PBM・PGM・PPM・HDR・JP2])/PDF/IFC-IFCXML・IFCZIP (2x2・2x3・4)/Revit2011~2026 (RVT・RFA)/VWXX (2026 [デザインレイヤビューポート]) | - | ● | ● | ● | ● |
| 取り出し | | | | | |
| DXF-DWG(R12~2026)/DWF(4.2・5.5・6.0)/3D DWF(6.01)/DWFX(6.02)/EPSF(3.1)/イメージファイル (BMP・GIF・JPG・JPEG・PNG・TIFF・HEIF [Windowsのみ: WDP・DDS・EMF]・[Macのみ: JP2・TGA・EXR・PSD・KTX・ASTC・PBM])/PDF (1.7)・PDF A-1b(1.4)・PDF A-2b(1.7)・PDF A-2u(1.7)・PDF A-3b(1.7)・PDF A-3u(1.7)・PDF A-4(2.0)・PDF A-4e(2.0)/スクリプト (TXT・PY・VSS・VS)/ワークシート (TXT・CSV・DIF・SLK・XLS・XLSX)/データベース (TXT・CSV・DIF・SLK)/Cinema 4D(2025)/USD(usd/usda/usdc)/COLLADA(DAE)/FBX/IGES(IGS-IGES 5.3)/OBJ/SAT/STEP(STP-STEP)/STL/Rhino 3DM/Parasolid X_T (9~37)/Strata Vision/HDR(HDR)/パノラマ (HTML)/VGX/アニメーション (MOV)/VWXX(2021~2025)/Unreal Datasmith (4.27)/Jw_cad(JWW) | ● | ● | ● | ● | ● |
| IFC・IFCXML・IFCZIP (2x3・4)/Revit2011~2026 (RVT・RFA)/地理空間情報 (KML)/3DS/3D PDF/ジオリアレンスイメージ (BPW・JGW・PGW・TFW・GFW・WLD)/BCF(v2.1・v3.0)・BCFZIP(v2.0) | - | ● | ● | ● | ● |
| Shape (SHP) | - | ● | ● | - | ● |
| ASCIIテキスト (3.0)/照明器具情報 (Lightwright5~6)/ESC (Vision 4~Vision2026)/MVR (1.6) | - | - | - | ● | ● |

※記載されている情報は2025年11月現在のものです。最新の情報は弊社Webサイトをご覧ください。

製品価格一覧

表記価格は消費税を含んだ税込価格です。

Vectorworks 2026 スタンドアロン版
DESIGN SUITE

| | 製品名 | 型番 | 標準価格 |
|--------------------|---|---------|----------|
| サブスクリプション ライセンス | Design Suite 2026 年間サブスクリプション ^{※1} | SUBD31Y | 264,000円 |
| | Design Suite 2026 月間サブスクリプション | - | 26,400円 |
| 永続ライセンス | Design Suite 2026 スタンドアロン版 永続ライセンス | 124295 | 676,500円 |
| | Design Suite 2026 スタンドアロン版 永続ライセンス student2PROサービス版 ^{※1} | SPXD31 | 405,900円 |

ARCHITECT

| | 製品名 | 型番 | 標準価格 |
|--------------------|--|---------|----------|
| サブスクリプション ライセンス | Architect 2026 年間サブスクリプション ^{※1} | SUBA31Y | 198,000円 |
| | Architect 2026 月間サブスクリプション | - | 19,800円 |
| 永続ライセンス | Architect 2026 スタンドアロン版 永続ライセンス | 124292 | 523,600円 |
| | Architect 2026 スタンドアロン版 永続ライセンス student2PROサービス版 ^{※1} | SPXA31 | 314,600円 |

LANDMARK

| | 製品名 | 型番 | 標準価格 |
|--------------------|---|---------|----------|
| サブスクリプション ライセンス | Landmark 2026 年間サブスクリプション ^{※1} | SUBL31Y | 198,000円 |
| | Landmark 2026 月間サブスクリプション | - | 19,800円 |
| 永続ライセンス | Landmark 2026 スタンドアロン版 永続ライセンス | 124293 | 523,600円 |
| | Landmark 2026 スタンドアロン版 永続ライセンス student2PROサービス版 ^{※1} | SPXL31 | 314,600円 |

SPOTLIGHT

| | 製品名 | 型番 | 標準価格 |
|--------------------|--|---------|----------|
| サブスクリプション ライセンス | Spotlight 2026 年間サブスクリプション ^{※1} | SUBS31Y | 198,000円 |
| | Spotlight 2026 月間サブスクリプション | - | 19,800円 |
| 永続ライセンス | Spotlight 2026 スタンドアロン版 永続ライセンス | 124294 | 523,600円 |
| | Spotlight 2026 スタンドアロン版 永続ライセンス student2PROサービス版 ^{※1} | SPXS31 | 314,600円 |

FUNDAMENTALS

| | 製品名 | 型番 | 標準価格 |
|--------------------|---|---------|----------|
| サブスクリプション ライセンス | Fundamentals 2026 年間サブスクリプション ^{※1} | SUBF31Y | 132,000円 |
| | Fundamentals 2026 月間サブスクリプション | - | 13,200円 |
| 永続ライセンス | Fundamentals 2026 スタンドアロン版 永続ライセンス | 124291 | 393,800円 |

追加モジュール

| | 製品名 | 型番 | 標準価格 |
|---------|---|--------|----------|
| 永続ライセンス | Architect モジュール 2026 スタンドアロン版 永続ライセンス (Fundamentals 2026への追加用) | VRAR31 | 129,800円 |
| | Landmark モジュール 2026 スタンドアロン版 永続ライセンス (Fundamentals 2026への追加用) | VRRL31 | 129,800円 |
| | Spotlight モジュール 2026 スタンドアロン版 永続ライセンス (Fundamentals 2026への追加用) | VRSR31 | 129,800円 |
| | Design Suite モジュール 2026 スタンドアロン版 永続ライセンス (Fundamentals 2026への追加用) | VRCR31 | 282,700円 |
| | Design Suite モジュール 2026 スタンドアロン版 永続ライセンス (Architect 2026への追加用) | ARCR31 | 152,900円 |
| | Design Suite モジュール 2026 スタンドアロン版 永続ライセンス (Landmark 2026への追加用) | LRCR31 | 152,900円 |
| | Design Suite モジュール 2026 スタンドアロン版 永続ライセンス (Spotlight 2026への追加用) | SRCR31 | 152,900円 |

※1 販売店/家電量販店から購入する場合、ご購入先に専用申込書のご提出が必要な製品です。
※月間サブスクリプションは、直接ベクターワークスジャパンへの申し込みとなります。販売店/家電量販店経由ではお申し込みいただけません。
※インストールメディアは付属しません。インストールプログラムは専用サイトからダウンロードして入手いただけます。

Vectorworks 2026 ネットワーク版

| | 製品名 | 型番 | 標準価格 |
|---------|---|---------|------------|
| 永続ライセンス | Fundamentals 2026 ネットワーク版 永続ライセンス 基本パッケージ (5ライセンス同梱) | N310000 | 1,969,000円 |
| | Fundamentals 2026 ネットワーク版 永続ライセンス 追加ライセンス (合計1-5ライセンス単価) | N310001 | 393,800円 |
| | Fundamentals 2026 ネットワーク版 永続ライセンス 追加ライセンス (合計6-10ライセンス単価) | N310002 | 355,300円 |
| | Fundamentals 2026 ネットワーク版 永続ライセンス 追加ライセンス (合計11-20ライセンス単価) | N310003 | 308,000円 |
| | Fundamentals 2026 ネットワーク版 永続ライセンス 追加ライセンス (合計21-30ライセンス単価) | N310004 | 280,500円 |
| | Fundamentals 2026 ネットワーク版 永続ライセンス 追加ライセンス (合計31-40ライセンス単価) | N310005 | 261,800円 |
| | Fundamentals 2026 ネットワーク版 永続ライセンス 追加ライセンス (合計41-50ライセンス単価) | N310006 | 242,000円 |
| | Fundamentals 2026 ネットワーク版 永続ライセンス 追加ライセンス (合計51-200ライセンス単価) | N310007 | 234,300円 |
| | Fundamentals 2026 ネットワーク版 永続ライセンス 追加ライセンス (合計201ライセンス以上単価) | N310008 | 227,700円 |
| | Design Suite モジュール 2026 ネットワーク版 永続ライセンス | N310009 | 282,700円 |
| | Architect モジュール 2026 ネットワーク版 永続ライセンス | N310010 | 129,800円 |
| | Landmark モジュール 2026 ネットワーク版 永続ライセンス | N310011 | 129,800円 |
| | Spotlight モジュール 2026 ネットワーク版 永続ライセンス | N310012 | 129,800円 |

※追加ライセンス単価は、同バージョン内での追加購入後の合計ライセンス数が適用となります。
※インストールメディアは付属しません。インストールプログラムは専用サイトからダウンロードして入手いただけます。

Vectorworks Service Select契約 (永続ライセンス 年間保守サービス)

| | 製品名 | 型番 | 新規契約1年 | 型番 | 更新価格1年 |
|---|---|---------|----------|----------|----------|
| Vectorworks 2026 スタンドアロン版 永続ライセンス ユーザー向け | Vectorworks Service Select Design Suite スタンドアロン版 | CR3112 | 141,900円 | CR31R04 | 141,900円 |
| | Vectorworks Service Select Architect スタンドアロン版 | AR3112 | 115,500円 | AR31R04 | 115,500円 |
| | Vectorworks Service Select Landmark スタンドアロン版 | LR3112 | 115,500円 | LR31R04 | 115,500円 |
| | Vectorworks Service Select Spotlight スタンドアロン版 | SR3112 | 115,500円 | SR31R04 | 115,500円 |
| | Vectorworks Service Select Fundamentals スタンドアロン版 | VR3112 | 89,100円 | VR31R04 | 89,100円 |
| Vectorworks 2026 ネットワーク版 永続ライセンス ユーザー向け | Vectorworks Service Select Fundamentals ネットワーク版 | VR3112G | 89,100円 | VR31GR04 | 89,100円 |
| | Vectorworks Service Select Design Suite モジュール ネットワーク版 | CR3112G | 52,800円 | CR31GR04 | 52,800円 |
| | Vectorworks Service Select Architect モジュール ネットワーク版 | AR3112G | 26,400円 | AR31GR04 | 26,400円 |
| | Vectorworks Service Select Landmark モジュール ネットワーク版 | LR3112G | 26,400円 | LR31GR04 | 26,400円 |
| | Vectorworks Service Select Spotlight モジュール ネットワーク版 | SR3112G | 26,400円 | SR31GR04 | 26,400円 |

※次年度更新価格は2025年11月時点の価格を元に試算しています。価格は予告なく変更になる場合があります。



VECTORWORKS®

A NEMETSCHEK COMPANY

2025.11

ベクターワークスジャパン株式会社

<https://www.vectorworks.co.jp>

製品に関するお問い合わせ

営業部

一般の方： market@vectorworks.co.jp

販売店： aa_sl-team@vectorworks.co.jp

Vectorworks Japan Store

<https://store.vectorworks.co.jp>

お問い合わせ

©2025 Vectorworks, Inc. Vectorworks, Renderworks, BraceworksとConnectCADはVectorworks, Inc.の登録商標です。SmartCursorとVectorScriptはVectorworks, Inc.の商標です。VisionはVectorworks, Inc.の製品です。すべての権利はVectorworks, Inc.が保有しています。Windowsは、米国Microsoft Corporationの、米国、日本およびその他の国における登録商標または商標です。Mac, macOS, iPhoneは、米国およびその他の国で登録されたApple Inc.の商標です。その他記載されている会社名および商品名などは該当する各社の商標または登録商標です。使用しているイメージはVectorworks Design Suiteを使用し、一部、画像処理を行っているものが含まれています。製品の仕様、サービス内容等は予告なく変更することがあります。

Vectorworks Japan Co., Ltd. and its licensors. All rights reserved. Printed in Japan. 251113 AI